

奈良

SDGs学び旅 ガイドブック

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



目次

2 はじめに

6-40 古都奈良の文化財

- 10 東大寺
- 14 興福寺
- 17 元興寺
- 20 薬師寺
- 24 唐招提寺
- 27 平城宮跡
- 32 春日大社
- 37 春日山原始林

- 41 ならまち
- 45 奈良のシカ
- 50 法隆寺地域の仏教建造物
- 54 飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群
- 57 紀伊山地の霊場と参詣道
- 61 ユネスコ無形文化遺産
- 64 ワークシート(奈良から帰ってきたら考えよう)

コラム

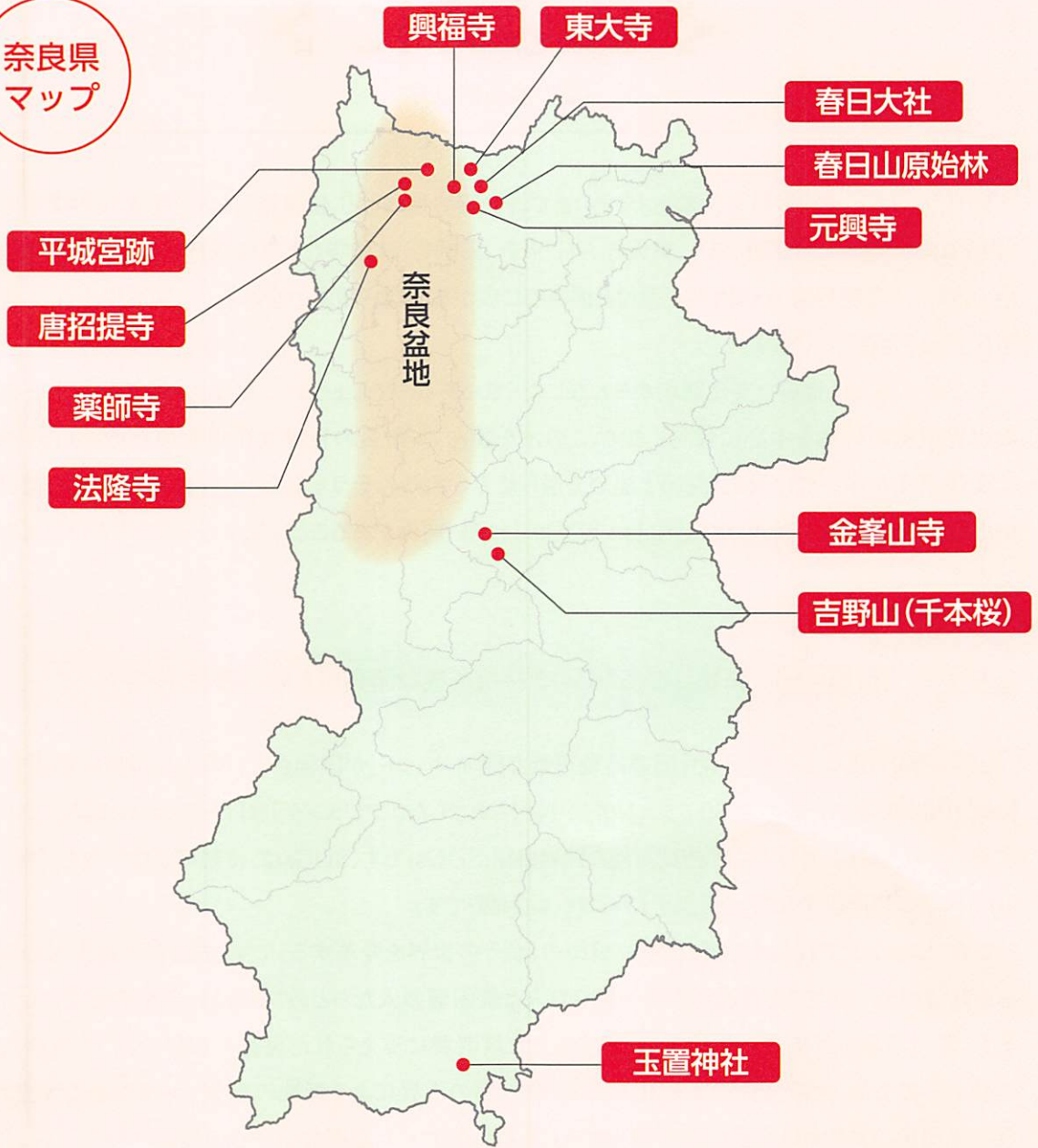
- 19 「ならまちでは、こんなSDGsも学べるよ」① 奈良町からくりおもちゃ館
- 23 万葉集
- 40 ナラ枯れと森のエネルギー
- 44 「ならまちでは、こんなSDGsも学べるよ」② ならまち糞虫館
- 49 ごみ分別運動にも活躍する「奈良のシカ」
- 53 世界文化遺産の多様性を認めた奈良文書

(画像提供一覧)順不同

奈良国立博物館(撮影 佐々木 香輔/森村 欣司)/奈良文化財研究所/一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー
東大寺/元興寺/薬師寺/平城宮跡管理センター/春日大社/崇道天皇社/金剛峯寺/吉野山観光協会/
明日香村教育委員会/ならまち糞虫館/小学館

掲載の内容を無断で使用・転載・複製することを禁止します。

奈良県
マップ



〈監修・執筆〉

長友 恒人 (奈良教育大学名誉教授 日本ESD学会前会長)

〈執筆者一覧〉

中澤 静男 (奈良教育大学准教授)

大西 浩明 (奈良教育大学特任准教授)

杉山 拓次 (奈良教育大学研究員)

川井 徳子 (公益社団法人 ソーシャル・サイエンス・ラボ 専務理事)

〈監修〉順不同

東大寺／興福寺／元興寺／薬師寺／唐招提寺／春日大社／飛鳥寺／玉置神社／金峯山寺／金剛峯寺／熊野本宮大社

はじめに

(この本の使い方)

奈良県には3つの「世界文化遺産」があります。「法隆寺地域の仏教建造物」、「古都奈良の文化財」、「紀伊山地の霊場と参詣道」です。東大寺、春日大社、薬師寺、法隆寺など修学旅行で巡る奈良県の観光地のほとんどは世界遺産です。明日香村と橿原市に広がる「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」も世界遺産登録を目指しています。

なぜ奈良県には貴重な文化遺産がこんなにたくさんあるのでしょうか。この本は皆さんが訪れる奈良の世界遺産の特徴を中心に解説します。この本を読んで、奈良の世界文化遺産の特徴を知り、奈良に文化遺産が多いのは何故だろうと思いを巡らせてください。そうすることで、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDGs)」と深い関係があることに気がついていただければ幸いです。

1

持続可能な開発目標(SDGs)と持続可能な開発のための教育(ESD)

2015年9月にニューヨークで「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました(「アジェンダ」は「行動のための計画」という意味)。このアジェンダの中心が持続可能な開発目標(SDGs)です。SDGsは、持続可能な社会を目指して2030年までに達成することを目指す17のゴール(目標)です。

このアジェンダで注目すべき言葉は、冒頭の「我々の世界を変革する」です。先進国と途上国の間にある経済格差、国内でも資産のある一握りの人と貧困層の人たちとの格差は社会を不安定にしています。難民の数も増加の一途です。大量生産・大量消費に支えられた現在の世界では、地球環境が持続できません。地球全体が温暖化すると、海水面の上昇による低地の消失、台風などの大型化、食料生産量の減少といったリスクが増大することがわかりつつ、温暖化の一つの原因であると言われている二酸化炭素の排出量はいっこうに減少しません。アジェンダは、我々の世界を単に、「発展させる」や「改善する」のではなく「変革する」のです。

このような現代的・地球的な課題の解決には3つのものが必要です。1つは国際協力です。日本だけが持続可能な社会になるということはありません。世界はつながっています。2つ目は技術・システムの革新です。ワクチンの開発のように、新しい技術を応用することで様々な問題を解決することが可能になるでしょう。3つ目が持続可能な社会づくりに参加しようとする人々の育成です。誰かがしてくれるのを待つのではなく、自分から行動し、多くの人たちと協働して問題解決に取り組む市民参画型社会が求められています。この持続可能な社会の創り手を育てる教育が「持続可能な開発のための教育

(Education for Sustainable Development : ESD)」です。ESDは小学生や中学生だけでなく、大人を含めたすべての人を対象としています。

2

奈良で学ぼうSDGs

現在の奈良市に平城京があったのは、710年から784年までです。もう1,300年も前になります。日本の気候は温帯モンスーン気候で、夏は高温多湿となります。また、日本は自然災害の多い国です。毎年台風や暴風雨による被害が発生します。地震や津波被害もあります。このような自然環境の中で、1,300年前の建造物や仏像、伝統行事にふれることができることは、「あたり前」のことでしょうか？

奈良に来た方が必ず見学に行くのが東大寺の大仏様です。大仏様は752年に建立されましたが、その後2回も争いに巻き込まれて被災しています。しかし、そのたびに、全国の人たちの協力で復興しています。一人一人の力は微々たるものですが、それが集まることで、不可能だと思われていたことを可能にしていたのが当時の奈良の人たちです。私たち一人一人が小さな力を出し合えば、持続可能な社会の実現も可能になることを大仏様が教えてくださっているのかもしれません。

奈良公園に行くときたくさんのシカと出会えます。奈良公園のシカは人を見ても逃げません。鹿せんべいをもっているとシカがお辞儀をしてくれます。本当です。でも、奈良公園のシカは全国にいるシカと同じニホンジカです。考えてみれば不思議なことです。このような奈良のシカと人の関係は一朝一夕にできあがったものではありません。1,000年以上にわたる人とシカのかかわりがあります。あまり知られていませんが、奈良公園のシカは野生動物です。誰かが飼育して、エサを与えているわけではありません。奈良のシカと人との関係から、人と自然との共生へのヒントが見つかるかもしれません。

3

持続可能な社会の創り手になるために

今は、誰もが「損か得か」、「少しでも得をするためには」といった経済重視の価値観が中心になっているように思えてなりません。持続可能な社会の創り手には次のような態度が必要です。

- ① 世代間の公正といって、先人の良い社会にしたいという思いを受け継ぎ、未来の人のことも考えて行動する。
- ② 世代内の公正といって、同じ時代を生きる弱い立場の人に配慮する。
- ③ 自然環境や生態系の保全を重視する。
- ④ 互いの人権や文化を尊重する。
- ⑤ 互いの幸福感を重視し、互いが幸福になるよう行動する。

奈良の文化遺産や自然環境を訪れると、上述した①～⑤を学ぶことができます。修学旅行がESD旅行になります。でも、ぼんやりしていたのではせっかくのチャンスを無駄にしてしまいます。

自分から一歩前に出て、奈良の空気を胸いっぱい深呼吸してください。奈良に来て、SDGsの風を体感しましょう。

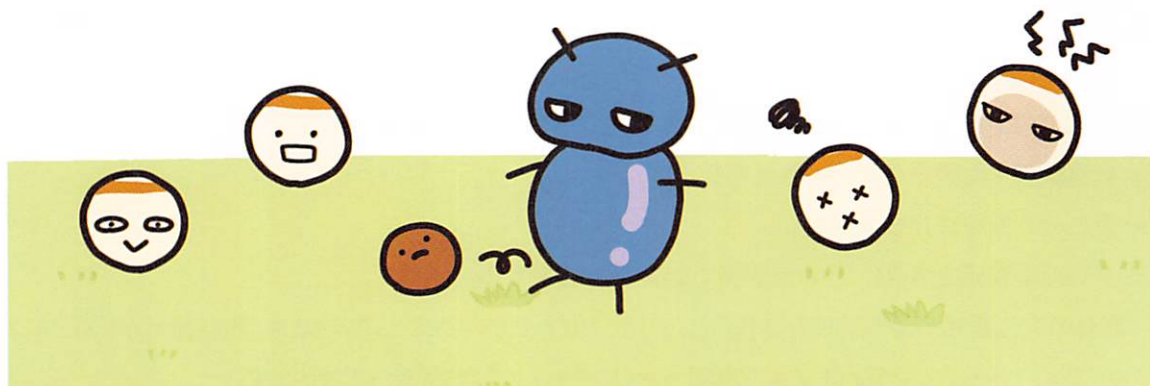
修学旅行で奈良に来る前に、寺社巡りの時に、修学旅行が終わった後にも、この本を手にとってください。持続可能な社会のこと、自分自身が持続可能な社会の創り手になるために何から始めればよいか、考えていただければ幸いです。

楽しい修学旅行にするために

- ・ **旅まえ** 奈良に行く前に、このブックレットなどで奈良のことをしっかり学びましょう。
- ・ **旅なか** 旅行中は、このブックレットも参考にして、よ〜く観察しましょう。
- ・ **旅あと** 帰ったら、持続可能な社会のために何ができるかを話し合しましょう。

旅のエチケット

- ・ 過去から伝えられ未来に繋ぐ大事な建造物や文化財の宝庫に落書きは禁物です。
- ・ 鹿にお菓子の袋やお弁当のプラスチック容器を食べられないように注意しましょう。
- ・ 来た時よりもきれいにして帰りましょう。
- ・ 人が多い場所ではマスク着用、大声で話さない、手洗い、消毒を確実にしましょう。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(SDGs)

- 目標1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- 目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- 目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- 目標4. すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
- 目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- 目標7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- 目標8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
- 目標9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
- 目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する。
- 目標11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- 目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する。
- 目標13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- 目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- 目標15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- 目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- 目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

(出典:「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」外務省仮訳)

古都奈良の文化財



①東大寺



②興福寺



③元興寺



④薬師寺



⑤唐招提寺



⑥平城宮跡



⑦春日大社



⑧春日山原始林

1

古都奈良の文化財の概要

古都奈良の文化財は、1998年に世界文化遺産に登録されました。東大寺・興福寺・元興寺・春日大社・春日山原始林・薬師寺・唐招提寺・平城宮跡の8つの資産から構成されます。世界文化遺産に登録されるには、6つある登録基準のいずれか1つ以上の価値を認められなくてはなりません。古都奈良の文化財は、4つの基準を満たしていることが認められました。

古都奈良の文化財が認められた登録基準

- (ii) 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
- (iii) 現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在(少なくとも希有な存在)である。
- (iv) 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- (vi) 顕著な普遍的価値を有する出来事(行事)、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある。

◇それぞれの登録基準に該当する文化財を見つけにいきましょう。

登録基準(ii)にあてはまる文化財

登録基準(iii)にあてはまる文化財

登録基準(iv)にあてはまる文化財

登録基準(vi)にあてはまる文化財

古都奈良の文化財の8つの構成資産のある場所



2

世界遺産条約はどのようにして生まれたか

世界遺産という考え方が生まれるきっかけになったのは、エジプトのヌビア遺跡にあるアブ・シンベル神殿水没の危機でした。1960年代にエジプト政府が、ナイル川の氾濫を防ぎ、水力発電による工業化の促進を目的に、アスワン・ハイ・ダムの建設計画を発表しました。洪水を防ぐことも、水力発電で多くの人が電気を使うことができようになることも大切です。しかし、ダムが建設されると、アブ・シンベル神殿はダム湖に沈むことになります。

素晴らしい文化遺産や自然遺産は、その国のものであるだけでなく、国境を越えた「人類共通の宝物」であるという考え方が広がり、ユネスコによるヌビア水没遺跡救済キャンペーンに60か国が賛同し、多くの国の協力でアブ・シンベル神殿は救われました。



アブ・シンベル神殿

その後、1972年に「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」が作られました。その目的は、優れた遺産を人類共通の遺産として保護、保全していくために、国際的な協力及び援助の体制を確立することです。

3

世界遺産のいろいろ

世界遺産として登録されるのは土地、建造物、自然などの不動産です。自然遺産と文化遺産の他に、両方の要素をもつ複合遺産の3つがあります。また、武力紛争、自然災害、大規模工事、都市開発、観光開発、商業的密猟などにより、重大な危機にさらされている世界遺産は、危機遺産と呼ばれています。さらに、日本では、原爆ドームのような、人類が犯した悲惨な出来事を伝え、そうした悲劇を二度と起こさないための戒めとなる世界遺産を負の遺産と呼んでいます。世界遺産以外にも、色々なものがあります。

(1) 無形文化遺産の保護に関する条約

伝統的舞踊、音楽、演劇、工芸技術、祭礼等の無形文化遺産を消失の危機から保護し、次世代へ伝えていくための国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的とする。

(2) ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)

豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域。

(3) ジオパーク

地球科学的な価値を持つ遺産(大地の遺産)を保全し、教育やツーリズムに活用しながら、持続可能な開発を進める地域。

(4) 世界の記憶

世界的に重要な記録物への認識を高め、保存やアクセスを促進することを目的としたプログラム。

これらはすべて世界遺産と同じユネスコの事業です。みなさんの住む地域にあるもので、どこかにあてはまるかもしれないものを見つけだして、その保護活動に取り組んでみてください。

4

古都奈良の文化財

古都奈良の文化財は1,300年前のものではなく、現在も人々の信仰やお祭りなどの宗教行事の拠点で

あり続けているという、1,300年前より現在まで受け継がれているものです。そこには持続可能な社会づくりのヒントとして、1.国際協力、2.技術やシステムの革新、3.価値のあるものを受け継いでいこう、伝えていこうとする能動的な市民参加のいくつかがあるでしょう。古都奈良の文化財を訪問される際には、気をつけてみてください。

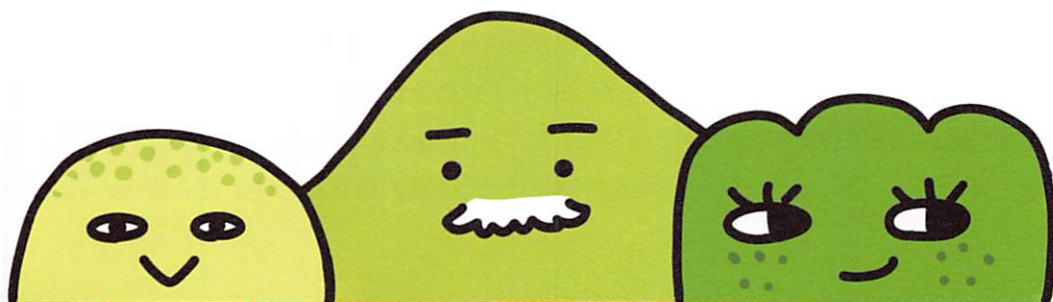
このブックレットには、古都奈良の文化財を中心に、修学旅行で奈良を訪問される皆さんが訪れると思われる文化遺産を取り上げ、持続可能な社会づくりに関連する学習をしていただくために書かれています。奈良を訪問された際には、次のような視点で文化遺産を見学してください。

特に、建物や行事といった社会環境や自然環境については、①、②、③の視点を、そこでの歴史上の人物の言動や行動については、④、⑤、⑥の視点を用いて見学し、気が付いたことはメモしてください。

① 多様性	いろいろとある。様々な方法や選択肢がある。
② 相互性	つながりがある。お互いに支えあっている。循環している。
③ 有限性	限りあるものを大切に、長く使っている。もったいない文化がある。
④ 公平性	誰にとっても公平であろうとし、公平であることを大切にしている。
⑤ 連携性	誰一人取り残さない。巻き込んでいこうとしている。
⑥ 責任性	リーダーシップを発揮している。協調性がある。

これらの視点は、持続可能な社会づくりの担い手に必要な視点です。奈良の文化遺産をこれらの視点で見学し、これらの視点を身につけましょう。そして、修学旅行から帰ってから、みなさんの地域の文化遺産をこれらの視点で見学することで、地域のよさを見出してください。あるいは、持続可能な社会づくりに関係する課題を発見できるかもしれません。

まずはこのブックレットを使って、奈良で学ぶSDGsについての予習をしてください。よく見てみたいものや確かめたいものが見つかるといいですね。奈良には1,300年前から受け継がれている「ほんもの」があります。「ほんもの」には本物にしかない迫力があります。そしてもう一つの奈良の特色は「静けさ」です。静かに「ほんもの」に向き合い、SDGsの学びを深めてください。



東大寺



大仏殿



1. とにかくスケールの大きい東大寺

東大寺は聖武天皇と光明皇后の間に生まれ、1歳の誕生日を迎える前に亡くなった皇子を供養するために建てられた山房、のちの^{きんしょうじ}金鐘寺がはじまりで、その後、大和の国分寺として^{こんこうみょうじ}金光明寺（金光明四天王護国寺）に、そして東大寺と発展し、今に受け継がれています。

東大寺の正門は南大門です。鎌倉時代にわずか69日で作られたという金剛力士（仁王）像が迫力満点で迎えてくれ



東大寺南大門

ます。大仏殿側には石の獅子像があります。すべてのスケールが大きいのが東大寺です。左手に東大寺ミュージアムを見ながら、大仏殿に向かいます。ほとんどの方が中門の前で左に曲がって大仏殿入口に向かいますが、中門には^{とぼつびしゃもんでんりゅうざう}兜跋毘沙門天立像がおられます。一見すると女神を踏みつけているように見えますが、違います。二鬼を従えた^{ちてんにょ}地天女が差し出す^{たなごころ}掌上の上に立っているのです。西域・シルクロードの^{とぼつこく}兜跋国に現れた姿をかたどった、珍しい作例です。お正月などの特別な日にはこの中門が開けられ、大仏殿に真っすぐに進むことができます。その時には、大仏殿の^{からほふ}唐破風の下にある^{さんからど}棧唐戸（観相窓）が

開き、大仏様のお顔が見えます。その様子を見てみたい人は、初詣やお盆に大仏様を参拝してください。

東大寺の本尊は大仏様るしやなぶつ（盧舎那仏）です。大きさは、現在でも座高約15mもあります。そして大仏様を安置するのが大仏殿（金堂）で、世界最大級の木造建造物として有名です。ところで、奈良時代の大仏殿は高さとお行きは今とほぼ同じですが、間口は約1.5倍もありました。また回廊の外には、一説に高さ100mともされる東西2つの七重塔があったようです。今もその土壇が残されていますので、ぜひそこに立ち、奈良時代の風景を思い浮かべてください。



大鐘

大仏殿を出て、坂を上ると鐘楼に出ます。吊られているのはとても大きな鐘で、今も毎日撞かれています。鐘を撞く木材を撞木しゅもくといいますが、ここの撞木は、本来撞くべき場所からややずらされており、逸話が伝えられています（『東大寺の昔話し』参照）。

東大寺には奈良時代の転害門てがいもん、塑像四天王像かいだんどうがおられる戒壇堂、東大寺建造物の中で最も古い法華堂しゅにえ（三月堂）、修二会が行われる二月堂などなど、見所がたくさんあります。とても1日では見るできません。

2. ここが大切

(1) 大仏様の造立

大仏様はどのような目的でつくられたのでしょうか。大仏様をつくる目的は、743年に聖武天皇により発せられた『盧舎那仏造願の詔』に「動植ごとく栄えんことを欲す。」と記されています。奈良時代は、大地震や天然痘の流行といった国内事情だけでなく、唐や新羅との緊張関係もあり、大変な時代でした。そのため、大仏様の力を借りて、人間だけでなく、生きとし生けるすべてのものが栄える世の中にしたと願っていたことがわかります。さらに、聖武天皇は大仏様のつくり方についても「一枝の草、ひとにぎりの土を持ちて、像を助け造らむ」と、人に手伝ってもらい、小さな力を結集して大仏様をつくらうとしました。大仏づくりには、のべ260万人の人が協力したと当時の記録に記されています。中には百濟系渡来人のルーツをもつ技術者や勸進をつとめた行基がおりました。



大仏様

(2) 大仏様の復興 ①

752年に完成した大仏様ですが、その後2度、戦乱に巻き込まれて被災しています。

1180年、平安時代末期は、源氏と平氏の勢力争いの時代でした。平清盛は子の重衡たいらのきよもりを総大将としてしげひら奈良に大軍を向かわせ、奈良の町を焼き払いました（南都焼き討ち）。その際、大仏殿も焼け落ちてしまいましたのです。

当時の人たちも、大仏様を修復しようとしたのですが「人力のおよぶところにあらず」と、誰もがあきらめていたところに立ち上がったのが重源上人ちゅうげんしやうにんです。重源上人はすでに60歳という高齢でしたが、中国に3回も渡ったことがあるといわれており、中国の技術者集団とのネットワークも持っていたようです。陳和卿などの中国(宋)の鑄造技術者などの協力を得る一方で、仲間とともに全国をまわり寄付を集めました。そのときの勸進帳に「尺布、寸鉄といえども、一木、半銭といえども」と記されています。布切れでも金釘でもいい、木切れでもわずかな銭でもいい、と大仏づくりへの協力を募っています。聖武天皇の思いを受け継ぎ、小さな力を結集することで、大仏様の修復を成し遂げました。その他に仁王像で有名な東大寺南大門を大仏様という新様式で再建するなど、重源上人は86歳で亡くなるまで、東大寺の復興に力を尽くしました。



重源上人



公慶上人

(3) 大仏様の復興 ②

戦国時代の1567年、大仏様は松永軍と三好軍の戦乱に巻き込まれ、大きな損傷を受けてしまいます。戦国時代の人も大仏修復を試みます。体の部分は修復できましたが、重い頭部を載せることができず、木で作った軽い頭部を載せ、銅板を貼っていました。大仏殿もなく、大仏様はこのあと140年間も雨ざらしてした。

江戸時代になって大仏修復に立ち上がったのが公慶上人こうけいしやうにんです。公慶上人も「天下の仏心を集めて一仏となす」、「一針一草の喜捨きしゃ」を唱え、全国を歩いて寄付を募りました。小さな力を結集して大仏様と大仏殿の修復を目指したのです。皆さんが今、目にしている大仏様は公慶上人が1692年に修復をとげた大仏様です。

3. 考えてみよう

(1) 東大寺修二会しゅにえ

東大寺二月堂では、752年より現在まで、一度も途切れることなく、修二会が行われています。11人の練行衆れんぎやうしゆうと呼ばれる僧達が、すべての人にかわって、日頃の過ちを十一面観音菩薩にお詫びをすることで、鎮護国家、天下泰安、風雨順時、五穀豊穰、万民快樂など、人々の幸福を願う行事です。これまでの東大寺の歴史で3度、修二会の継承に危機的状況がありました。1回目が1180年の南都焼き討ちで寺が大きな損害をうけたとき、2回目が江戸時代に修二会の最中に二月堂が失火による火災で焼失したとき、そして3回目が第二次世界大戦で、戦局が厳しく、空襲の危機もあるなか、修二会に参加している僧(練行衆)にまで召集令状が届き、戦地にむかわざるをえなかったときです。そのような状況でも、東大寺の僧は「不退の行法」として、修二会をやり続けました。



修二会

◇なぜ、東大寺ではどんなことがあっても修二会をやり続けるのでしょうか？

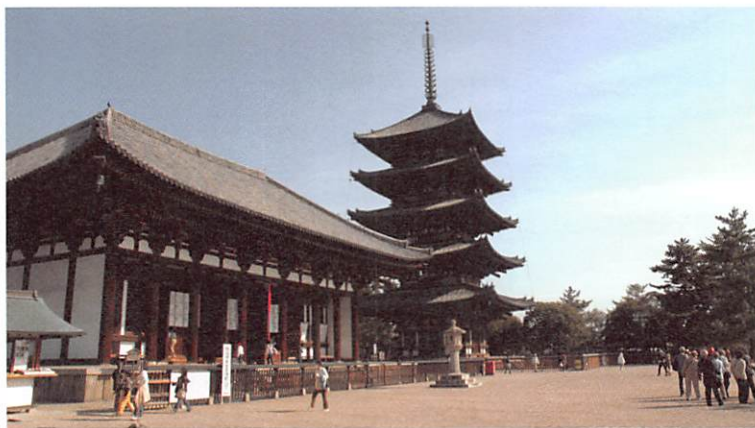
(2) SDGsの1つの目標を達成したり、持続可能な社会を実現したりするには、必須とされる3つの要素があります。

- ・ 国際協力：日本だけが持続可能な社会になるということはありません。
- ・ 技術やシステムの革新：世界中でコロナワクチンの開発に取り組んでいるように、これまでも人類が危機的状況に陥ると新しい技術やシステムによって、困難な状況を乗り越えてきました。
- ・ 能動的に参加・参画する市民：持続可能な社会づくりを行政や誰かにゆだねるのではなく、自らのライフスタイルを変革したり、地域社会のために自分ができることを考えて進んで取り組んだりする市民の育成。

◇大仏様の造立と復興には、この3つの要素のどれを見出すことができるでしょうか。
その理由も書いてください。(複数回答可)

◇皆さんの住む地域にも、この3つの要素のどれかを見出せるものはありませんか？
ぜひ見つけて、周りの人に伝えてください。

興福寺



東金堂・五重塔



1. 奈良の歴史をつくってきた興福寺

近鉄奈良駅を出て、奈良公園に入るとまず目につくのが興福寺の五重塔です。高さが50.1mあり、木造の五重塔としては日本で2番目の高さです。興福寺はこれまで何度も大きな火災を経験しています。今ある五重塔は1426年頃に再建されたもので、国宝に指定されています。

五重塔の目の前に新しく再建されたのが、中金堂ちゅうこんどうです。興福寺には、東金堂、中金堂、西金堂と3つも金堂がありました。興福寺は、乙巳の変で有名な中臣なかとみ(藤原)鎌足かまたりが京都の山科やましなでらに建てた山階寺が飛鳥うまやさかであらに移って厩坂寺ふじはらのふひととなり、平城京遷都と共に藤原不比等によって現在地に移され、名前も興福寺と改められて、藤原氏の氏寺として発展します。同じく藤原氏の氏神である春日大社と神仏習合で一体となり、多くの荘園から得る財力を基盤に大きな勢力をもつようになります。鎌倉幕府は全国に守護を置きましたが、奈良には守護を置いていません。そして室町時代には、幕府は興福寺を守護に任じています。江戸時代にも2万1千石の領地が認められていましたが、明治維新後の廃仏毀釈はいぶつしやくにより、築地塀ついでいが取り壊され、鎌倉時代から伝えられていた食堂じきどうなどの建物が失われるなど、一時は廃寺同然となりました。

興福寺火災年表

年代(年)	火災場所
1017	落雷で東金堂・五重塔焼失
1046	民家火災による被災
1060	中金堂より出火
1096	僧房より出火
1180	南都焼き討ちで全焼
1277	僧房への落雷より出火
1327	中金堂への放火
1411	五重塔への落雷
1717	講堂に入った盗賊の失火

現在、伽藍がらん復興がすすめられており、2018年に中心伽藍である中金堂が再建されました。

2. ここが大切

(1) 国宝館の諸仏像

国宝館には有名な阿修羅像をはじめとする八部衆像や釈迦の十大弟子像などの他、鎌倉時代につくられた金剛力士像、天燈鬼てんとうき・龍燈鬼りゅうとうき像などが安置されています。

これらの諸像をよく見ますと、腕先や足先等が失われているものがあります。また、十大弟子像は10体あるべきですが、実際には6体しかありません。なぜでしょうか。これらの諸像は西金堂に安置されていたものですが、興福寺火災年表をみると、今も6体が伝えられていることの方が奇跡のように感じませんか。度重なる火災の中、どのようにして救い出されたのでしょうか。

◇国宝館を訪れて感じたことをここに記してください。

(2) 八部衆像

阿修羅像などの八部衆像の制作を監督したのは、百濟系の渡来人の子孫である將軍万福しょうぐんまんぷくという仏師です。

八部衆は、それぞれインド神話に登場する神です。阿修羅像は3つの顔と6本の腕をもっていますが、八部衆には3つの目をもつ像や半人半獣の姿、頭部に獣をつけるものなど、人間にはない姿で表現されています。阿修羅はもともとは「アスラ」というインド神話に出てくる戦争の神でしたが、インドで仏教が盛んになり、アスラも仏教に取り入れられて仏教の守護神とされるようになっていきました。インドでは八部衆は個別に表現されていましたが、中国の唐では、八部衆は仏陀をとりまくセットとして表現されるようになっていきます。

(3) 興福寺の伝統文化への影響

興福寺は度重なる被災にもかかわらず、その都度復興してきました。その事実から、仏像の制作や修理、五重塔や金堂などの再建によって、技術が受け継がれてきたことが想像できます。奈良町は元興寺の境内にありますが、興福寺の門前町としても発展してきたため、能や狂言といった伝統文化がはぐくまれ



阿修羅像



迦樓羅像

ていきました。また、お寺では写経することも多くあるため、墨や筆などの伝統的な産業が発展しました。また興福寺は多くの僧兵をかかえていた関係から、刀や甲冑かっちゅうづくりなども盛んに行われていました。



3. 考えてみよう

興福寺中金堂の再建に関わって

2018年に中金堂が再建されました。中金堂は東西約36m、南北約23m、高さ約21mという、奈良時代の中金堂と同じ大きさです。このような大きな中金堂には、66本の大きくて強度のある柱材が必要です。興福寺では20年もかけてカメルーン産のケヤキを調達し、中金堂を再建しています。同じ理由で東大寺大仏殿の柱もいわゆる集成材が使われています。



大仏殿の柱

◇なぜ、国産材を使用しなかったのでしょうか。考えましょう。

◇また、木の文化を受け継いでいくためには、技術の伝承とともに、もうひとつ大切なことがあります。それは何でしょうか？

◇それはまた、SDGsのどの目標と関係があるのでしょうか？

元興寺



極楽堂



1. 奈良町全部が元興寺だった

元興寺は、飛鳥時代に明日香村に蘇我氏によって建てられた法興寺が始まりです。用明天皇2(587)年、仏教を取り入れるかどうかの争いが激化し、崇仏派である蘇我馬子うまどのみこと厩戸皇子うまやどのみこ(後の聖徳太子)が、排仏派である物部守屋ものべのもりやを打ち破りました。そのあと、蘇我氏によって日本で最初の仏教寺院として建てられたのが法興寺です。法興寺は、五重塔を中心に中金堂、東金堂、西金堂が建つ、一塔三金堂式伽藍がらん配置で、その周りに回廊がめぐらされ、僧の勉強の場である講堂や生活の場となる建物は、回廊の外側に配置され、仏の空間と人の空間を明確に分けていたと言われています。

710年の平城京遷都と共に、法興寺も奈良に移され、元興寺と名前を改めました。世界文化遺産「古都奈良の文化財」の構成資産として、国宝極楽堂(極楽坊本堂)と国宝禅室(極楽坊禅室)が登録されています。当時の境内地は今の奈良町のほとんどを含む広大な寺域でした。今も史跡元興寺塔跡、史跡小塔院跡、そして奈良町の町名にその名残がうかがえます。



極楽堂の行基葺き

2. ここが大切

極楽堂と禅室の屋根を見てください。色合いとつなぎ方が違う瓦があることに気が付くと思います。これは、法興寺で使われていた瓦を再利用したもので、日本で一番古い瓦です。それが行基^ぶ葺きという当時の技術で葺かれています。

極楽堂の中央に内陣があります。当時の人たちは、この内陣を極楽の入口としてとても大切にしてきました。現在の極楽堂は鎌倉時代に再建されたものですが、内陣の柱には中世の人々が刻んだ文字が多数残されており、大切な思いを感じさせます。

法輪館に入ると目につくのが五重小塔です。塔とは釈迦の骨を納める舎利^{しり}容器が本来の役割です。5.5mほどの五重小塔ですが、レプリカではなく、奈良時代につくられた「建造物」で国宝に指定されています。内部構造まで忠実につくられています。

奈良町の真ん中あたりに「元興寺塔跡」があります。江戸時代の終わり頃まで、ここに奈良時代に建立された五重塔がありました。高さが約57mという大きな塔でしたが、1859年に近くの民家の火事に巻き込まれて消失しました。今は礎石^{そせき}が残っています。

また、ここにある啼燈籠^{なきとうろう}は、制作年代(正嘉元年、1257年)がわかる燈籠としては奈良市内で2番目に古いものです。1944年の地震で倒壊しましたが、2010年に修復されています。



五重小塔

3. 考えてみよう

元興寺にみる持続可能な社会づくりの必須条件

元興寺は蘇我氏の建立です。ところが蘇我氏は、乙巳^{いっし}の変(645)で蘇我入鹿が宮中で殺害され、滅びています。つまり、元興寺には有力なスポンサーが不在になります。しかし、718年に平城京に移建してからは、南都七大寺のひとつとして国家を代表する寺院に位置づけられます。都が平安京に移ってからは衰退する時期もありますが、中世以降は貴族から庶民まで幅広く信仰を集めて発展し、1,300年もの長きに渡り受け継がれてきた寺院です。また、鎌倉時代再建の禅室には、当時最新の建築技術であった「大仏様^{よう}」という建築様式を見ることができます。

◇ESDの視点

元興寺を訪れて働かせることができるESDの視点を次の中から選んで(複数選択可)、その理由を書いてください。

ESDの視点:①多様性 ②相互性 ③有限性 ④公平性 ⑤連携性 ⑥責任性

◇ESDの価値観

元興寺を訪れて感じるすることができるESDの価値観を次の中から選んで(複数選択可)、その理由を書いてください。

ESDの価値観:①世代内の公正の重視 ②世代間の公正の重視
③自然環境や生態系の保全の重視 ④人権・文化の尊重 ⑤幸福であることの尊重

コラム ならまちでは、こんなSDGsも学べるよ①

奈良町からくりおもちゃ館

江戸時代の庶民文化の中、家庭で使われていたからくりおもちゃが置かれていて、だれでも気軽に遊ぶことができるようになっています。江戸時代のおもちゃは電気やぜんまい、ばねなどを使っていないため、作りが簡単で、原理を理解できれば自分でも作れそうなおもちゃが多数そろっています。実際に遊んでみると、「うまくできているなあ」と感心するおもちゃばかりです。



薬師寺



金堂



1. 日本で初めて二基の塔を建てた寺院

薬師寺は天武天皇が皇后鸕野讃良皇女(後の持統天皇)の病気が治ることを願い、建てられ始めましたが、天武天皇は完成前に亡くなり、あとを継いだ持統天皇の時代に藤原京に完成しました。その後の平城遷都にともない、現在の地に遷されました。創建当時は金堂・東西両塔・大講堂など、境内には多くの建物がありましたが、度重なる火災や地震で失われてしまい、創建時から現存しているのは東塔ただ一つです。一方の西塔は、1528年に兵火によって焼失してしまいましたが、1981年に再建されました。奈良時代の東塔と昭和時代の西塔を見比べると、屋根のそり方、色がずいぶん違います。西塔の方が、創建当初の姿です。「木の文化」を自然環境の中で受け継いでいくことの難しさを感じさせられます。中央に金堂、東西に二基の塔を配する伽藍配置は、薬師寺が日本で最初であり、「薬師寺式伽藍配置」といいます。また堂塔の各層にも裳階がつけられているのが薬師寺の伽藍の特徴です。その壮麗な堂塔は「龍宮造り」とも表現されています。



東塔

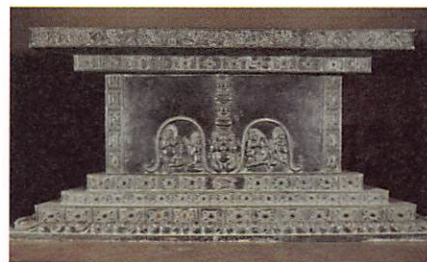
2. ここが大切

(1) 薬師如来像の台座

薬師寺の本尊が薬師如来像、その左右に立つのが日光菩薩、月光菩薩です。いずれも奈良時代の仏像で国宝に指定されています。薬師如来像の台座に注目してください。東僧房にレプリカが置かれているので、周囲からしっかり見る事ができるでしょう。この台座に施された彫刻に注目すると、上の方から、ギリシャ由来の葡萄唐草文様、ペルシャ由来の蓮華文様を見ることができます。中段にはインドの力神りきしんが刻まれ、下段の四方に中国の四神ししんが表されています。この台座1つから、当時は奈良が国際交流の中心地であったことがよくわかります。ちなみに、中国の四神には独特のルールがあり、平城宮の門、全国にある四天王像も同じルールに則って造られているので覚えておくと楽しくなるでしょう。方角・季節・色・四天王像が決まっています。



薬師如来像



台座と四神

四神	方角	季節	色	四天王像	言葉
せいりゅう 青龍	東	春	青	じこくてん 持国天	青春
すざく 朱雀	南	夏	朱(赤)	ぞうちょうてん 增長天	朱夏
びやくこ 白虎	西	秋	白	こうもくてん 広目天	白秋
げんぶ 玄武	北	冬	黒	たもんでん 多聞天	くろうと 玄人

(2) 百万巻写経勸進

1968年、管主になった高田好胤師こういんは、「時は高度経済成長の時代、物で栄えて心で滅ぶ事を憂い、精神性の伴った伽藍の復興を」と訴え、お写経を勧め、その納経料(当時1,000円)で薬師寺歴代管主の悲願でもあった金堂復興を目指して行動を始めます。金堂の復興には百万巻のお写経勸進が必要でした。初めは誰もが不可能だと思っていましたが、高田好胤師の呼びかけに応じてお写経する人が少しずつ増えていき、1976年には目標の百万巻が達成され、金堂が落慶されました。

その後もこのお写経勸進は続けられており、西塔、中門、回廊、大講堂、食堂などが復興されています。多くの国民の小さな力の結集によって伽藍復興を成し遂げている様子は、東大寺の大仏様の復興の精神との共通点を感じます。

(3) 玄奘三蔵の不東

玄奘三蔵(602~664)は、中国の隋・唐の時代の実在の人物で、『西遊記』の三蔵法師のモデルです。玄奘は、仏教を学ぶために中国各地の高僧を訪れて修行しましたが、さらに深く学ぶために、天竺(インド)に向かい、仏教の原典を学ぶことを決意しました。しかし、当時は鎖国によって国の出入りが禁止されており、出国の許可を得ることができませんでした。そこで27歳の時、密出国してインドを目指しました。役人に見つからないよう、誰も通らない道なき道を西へ西へとインドを目指します。あまりの厳しさにガイド役のソグド人(今のウズベキスタン辺り出身のガイド)も逃げてしまいました。さらに、灼熱のタクラマカン砂漠で、水の入った革袋を落としてしまいました。万事休すです。玄奘は東にある自国に戻りかけましたが、「目的を達するまで東へ戻らない」と覚悟を決めて、3年余りの苦しい旅の末、インドに到達し、ナーランダ寺院で仏教の勉強にはげみました。そして17年後に多くの経典や仏像、仏舎利とともに無事に帰国します。中国皇帝から全面的な支援を受け、全国から集められた僧侶とともに、19年間かけて持ち帰った経典の翻訳を行いました。玄奘の「不東」の精神が、その後の中国や日本の仏教の大きな発展をもたらしたと言えます。



玄奘三蔵の不東

3. 考えてみよう

持続可能な社会をつくるためには、次の3つが必要です。

- ① 国際協力：日本だけが持続可能な社会になるということはありません。
- ② 技術やシステムの革新：世界中でコロナワクチンの開発に取り組んでいるように、これまでも人類が危機的状況に陥ると新しい技術やシステムによって、困難な状況を乗り越えてきました。
- ③ 能動的に参加・参画する市民：持続可能な社会づくりを行政や誰かにゆだねるのではなく、自らのライフスタイルを変革したり、地域社会のために自分ができることを考えて進んで取り組んだりする市民の育成。

◇薬師寺ではどれを学ぶことができるでしょうか。選んで、その理由を書いてください。(複数選択可)

◇持続可能な社会づくりは、なかなか簡単にはいかないかもしれません。その時に思い出してほしいのが玄奘三蔵の「不東」です。皆さんは、持続可能な社会をつくるために、「不東」の精神でどんなことに取り組みますか？

◇薬師寺を拝観すると、奈良時代が想像以上に国際交流が盛んな時代であることが感じられます。薬師寺の中で見つけた国際交流を書いてみましょう。

コラム

万葉集

万葉集の歌の作者

万葉集に収められている歌の作者は、身分や性別に関係なく、天皇や皇族、貴族から下級役人、防人(九州に派遣された東国の兵士たち)、名前の伝わらない人々まで、本当にさまざまです。半分以上は名前の伝わらない人々(作者未詳)の歌です。

持統天皇

里中満智子さんの『天上の虹』というマンガには、持統天皇が主人公として描かれています。持統天皇は女性の天皇として、藤原京の建設や律令政治の確立に向けてリーダーシップを発揮し、活躍しました。女性の天皇は他にもいたのでしょうか？

唐招提寺

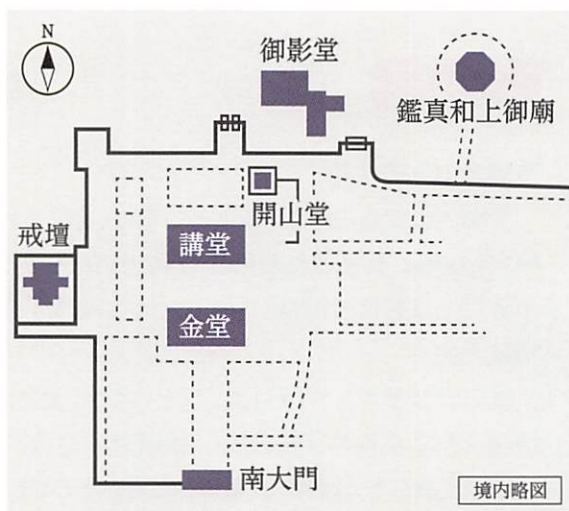


金堂



1. 戒律を学ぶ人達の修行の道場

唐招提寺は正しい仏教を日本に伝えるために唐より来日した鑑真和上^{かんじんわじょう}によって、戒律を学ぶ人たちのための修行の道場として、759年に開かれた寺院です。戒律の「律」とは、僧侶として守らなければならないルールで、「戒」とは律を守って正しい仏教者として生きていこうとする志です。寺院の伽藍^{がらん}では、塔は舍利を納める施設、金堂は仏像を納める施設で、僧の学びの場が講堂です。唐招提寺の「招提」は僧が集まる場という意味であることと、平城宮の東朝集院^{ちようしゅういん}を移築した講堂が一番初めに建てられたことから、唐招提寺の特色がわかります。この講堂は平城宮の建物として現存する唯一のものです。また、金堂は奈良時代に建てられた本格的な金堂としてこれも唯一のものです。さらに、戒律を授ける特別な施設である戒壇^{かいだん}があるのも唐招提寺の特色です。平安時代には五重塔が建立されましたが、江戸時代の終わりに落雷のため焼失してしまいました。

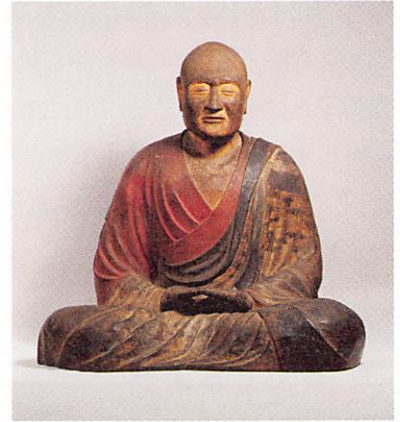


唐招提寺の伽藍配置図

2. ここが大切

(1) 鑑真和上(688~763)

中国揚州の大雲寺の住職であった鑑真和上は、江南第一の授戒の大師として、誰からも尊敬される僧でした。一方、興福寺の栄叡と普照は朝廷の命を受け、遣唐使船で唐に向かいました。正式な僧になるためには戒律を授かる必要がありましたが、その儀式には戒をさずける資格を持つ10人の僧が必要となるため、唐から資格を持つ僧に日本に来てもらおうとしたのです。9年間にわたる大変な苦勞の末、2人は鑑真和上を紹介されます。そこで、2人は鑑真和上の弟子の誰かに日本に来てもらうよう依頼しましたが、日本への渡航は危険であるため、誰も行こうとはしませんでした。すると鑑真和上は、「仏教のためだ。誰も行かないなら私が行く。」と言い、その後5回の失敗にもくじけることなく、12年後に日本にたどり着きます。その渡航の様子は、「東征伝絵巻」(重要文化財)に描かれています。そして、東大寺大仏殿の前に戒壇をつくり、聖武天皇など400人以上に戒をさずけました。



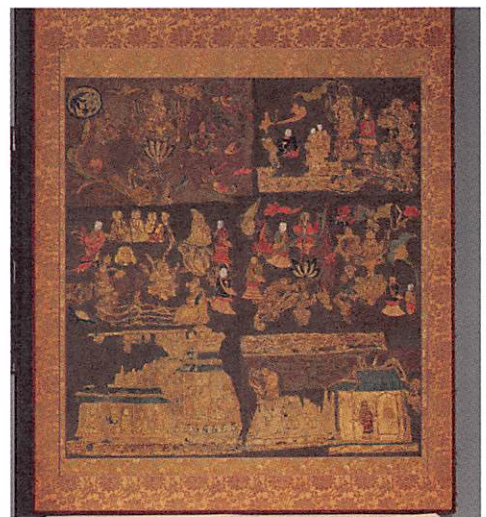
鑑真和上の像

鑑真和上坐像は、鑑真の死が近いことを知った弟子たちによって生前につくられた像です。復元された御影堂に、鑑真和上の故郷の景色を描いた東山魁夷氏の水墨画に囲まれて安置されています。毎年6月5~7日の鑑真大和上坐像特別開扉時に拝観することができます。

(2) 唐招提寺中興の祖、覚盛上人

鎌倉時代、唐招提寺復興の祖とされる覚盛(1194~1249)は、1236年に東大寺羅索堂において、他者の救済を目指すことを誓うという自誓受戒を、叡尊と共に果たしました。そして、盟友である叡尊とともに、釈迦が定めたという僧侶たちが守るべきルールを生涯を通じて守ること(戒律護持)を主張します。そして西大寺に拠点を定めた叡尊とその弟子の忍性と共に、当時の仏教ができずにいた女人救済とハンセン病患者救済という、2つの救済活動に取り組んでいきます。

覚盛は、信如房を弟子として養成しました。彼女は中宮寺に入り、所在不明になっていた天寿国繡帳を発見し、中宮寺を復興させていったほか、比丘尼と呼ばれる女性仏教者として女人救済活動の中心的存在となっていきます。その他、覚盛は叡尊と共に法華寺に尼戒壇をつくるな



天寿国繡帳

ど、女性仏教者が安心して宗教活動に従事できる場をつくっていきました。

(3) うちわまき

毎年5月19日に舍利殿からハート型のうちわ数百本が参拝者にまかれます。これは鎌倉時代の唐招提寺中興の祖である覚盛上人が、修行中に蚊に刺されているのを見た弟子が蚊をたたこうとしたところ、「自分の血を与えるのも修行である。生き物を殺してはならない。」と戒めました。

そして、覚盛上人が亡くなられたときに、法華寺の尼僧がハート型のうちわを供えたのが、うちわまきのはじまりです。



うちわまき

3. 考えてみよう

しゃかによらいりゅうぞう たいない 釈迦如来立像の胎内文書

うちわまきを行う鼓楼の東側にある細長い建物の南側を礼堂らいどうといい、そこに釈迦如来立像が安置されています。釈迦如来立像は鎌倉時代につくられた像で重要文化財に指定されています。この像の中にたくさんの文書が納められていますが、そのひとつに「必ず必ず、これら衆生より始めて、一切衆生、皆々、仏となさせ給え」と記されており、たくさんの人の名前に交じって、クモ、ノミ、シラミ、ムカデ、ミミズなどの名前が書かれています。

◇この文書から、当時の人たちの自然に対する感覚を想像してみましょう。

自分の感覚とどう違うのでしょうか？



釈迦如来立像

平城宮跡



平城宮跡



1. 国家の威信をかけて建設された平城宮

元明天皇が710年に藤原京から平城京に遷都してから、途中、聖武天皇が740年に都を恭仁京へ、その後、紫香樂宮、難波宮へと移し、745年に平城京にもどるということはありましたが、784年に桓武天皇が長岡京に遷都するまでの74年間、人口10万人ほどの大都市が奈良盆地の北端に築かれた時代が奈良時代です。また、奈良時代は遣唐使などからもたらされる情報をもとに、唐(中国)の文化を積極的に取り入れた時代で、法律制度にもとづく国の仕組み(律令国家)を整えたり、唐の長安をモデルとした平城京や天皇のすまいや宮殿、役所などの重要施設を集中させた平城宮を建設したりしています。

藤原京では、中央に藤原宮が配置されていますが、平城京では長安と同じように北側中央部に平城宮を置いています。これは皇帝を天空の回転の中心である北極星になぞらえる考え方を取り入れたものだと思います。

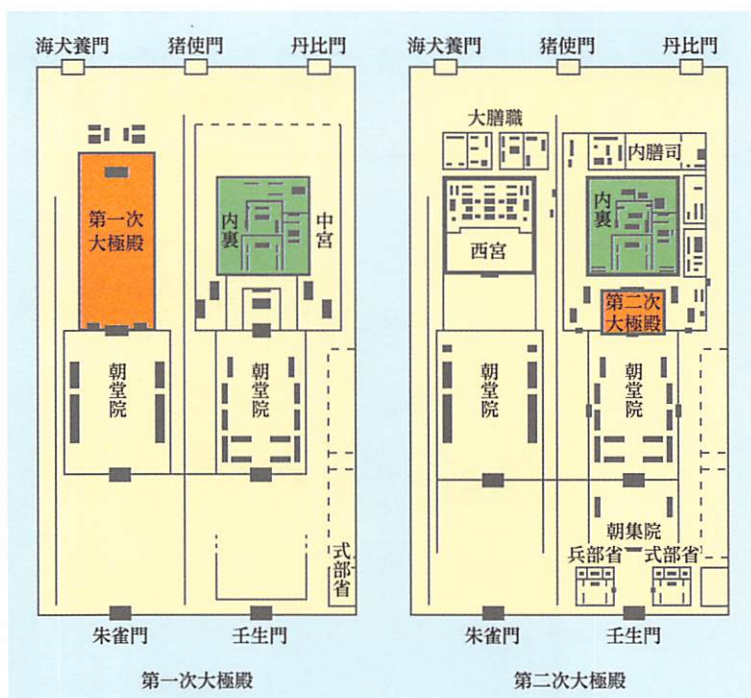
平城宮跡に入ってみましょう。平城宮は高さ5mほどの築地塀に囲まれ、12か所の門がありました。朱雀門は南面中央の正門です。聖武天皇が都を移すまでは、朱雀門からはいった正面の築地回廊で囲まれた長方形の敷地の北寄りに大極殿(第一次大極殿)がありました。大極殿には高御座がおかれ、天皇が出御し、元日朝賀の儀式や外国からの施設をもてなすなど、もっとも重要な施設でした。築地回廊の手前には4つの朝堂院が建てられており、大切な行事や外国の使節が来朝した際に、宴会

などでもてなす場所であったと考えられています。一方、その東側地区には12堂からなる朝堂院が建てられていました。この12堂の構成は藤原宮を受けついでおり、実際の政治に関する事務を行う施設であったと考えられています。12堂の北側には、天皇のすまいであった内裏が建てられていたようです。

聖武天皇が平城宮にもどってからは、東側に新たな大極殿(第二次大極殿)が建てられています。その位置は、一段と高くなっていますので、訪れるとすぐにわかります。

東側地区の12の朝堂院の前に、東西2棟の朝集院がありました。ここは、夜明け前に出勤した役人たちが集合し、衣服を整え、朝堂院が開くのを待つ場所です。

唐招提寺の講堂は東朝集院を移築したもので、奈良時代の平城宮の建物です。



2. ここが大切

(1) 平城宮跡研究と保存運動の始まり

平城宮の研究は、幕末の『平城宮大内裏跡坪割之図』に始まります。これは、大和古市の奉行所の侍であった北浦定政の実測にもとづく図面です。1897(明治30)年に奈良県技師として赴任していた関野貞は、北浦の表した図に刺激を受け、平城宮の研究を開始します。関野が大極殿の研究をまとめた「平城宮大極殿跡考」を1900年正月の『奈良新聞』に発表し、それを讀んだ棚田嘉十郎により保存運動がスタートしました。棚田嘉十郎は奈良公園出入りの植木商ですが、溝辺文四郎と共に私財をなげうって、平城宮址保存会を組織し、宮跡保存運動に取り組みました。文化遺産を保護するという考え方が一般的ではない時代でしたから、2人は大変苦勞します。



棚田嘉十郎の銅像

溝辺は病死し、棚田も失明しますが、運動を続けました。平城宮址保存会から奈良大極殿址保存会へと保存運動は引き継がれ、ようやく大極殿と朝堂院一带の土地を確保し、保存会はこれを国に寄付します。そして、1922年に平城宮跡は史跡に指定されますが、その1年前に棚田は亡くなっています。この2人の活動があったからこそ、平城宮跡は保存され、世界遺産に登録されるまでになったといえます。

(2) 木簡もっかん

木簡は、当時の役人が日々の仕事の中で書き付けたもので、1961年に平城宮跡で41点の木簡がまとめて発見されてから、注目されるようになりました。東北地方から九州地方まで、全国で40万点近く出土しています。平城宮跡や藤原京、長岡京や平安京といった都がおかれていた場所から発掘されるものが多くありますが、中央だけでなく地方の役所や行政について研究するための第一級の史料となっています。木簡を解読することで、奈良時代の人々の生活の様子がいろいろとわかるようになってきました。

特に有名な木簡といえば、1988年から1989年にかけて平城京跡で発見された「ながやおうけ長屋王家木簡おおじ」および「おおじ二条大路木簡」です。両者をあわせると出土点数は10万点を超えます。

発掘される木簡の多くは、完全なものはほとんどなく、折られたり、割られたりしています。もともと奈良時代の人が必要になって捨てたものが発掘されるわけです。木簡は紙の代わりに普通に使われていました。さらに多く発見されるのは木簡の削りくずです。一度使った木簡に別のことを書くために、表面を薄く削って再利用していました。

(3) 朝の平城京の風景

平城宮内の陰陽寮に置かれた水時計を手掛かりに、日の出のおよそ20分前に第一開門鼓が鳴らされ、朱雀門など平城宮と平城京をつなぐ12の門、平城京の正門である羅城門などが一斉に開かれました。

貴族など身分の高い者は平城宮の近くに住んでいましたが、一般の下級役人は、平城京内でもかなり離れたところに住んでいた者もあったようなので、出勤に時間がかかったことでしょう。第一次開門鼓から約1時間後に第二次開門鼓が鳴らされ、朝堂院と大極殿の門が開かれます。それまでに朝集殿に出勤していなければなりません。夜明け前に家を出る者が多かったようです。役所ではそれぞれの役人に、ご飯とちょっとしたおかずといった朝食を支給していました。

(4) 平城京のトイレ事情

藤原京や平城京には水洗トイレがあったと考えられています。農民の家では排泄物を肥料にすることもできますが、平城京の住民は都市住民ですから、肥料は必要ありません。トイレが必要です。平城京では、道路わきを流れる溝から屋敷内に水を引き込み、その上にトイレを設置していたと考えられる遺構が見つ



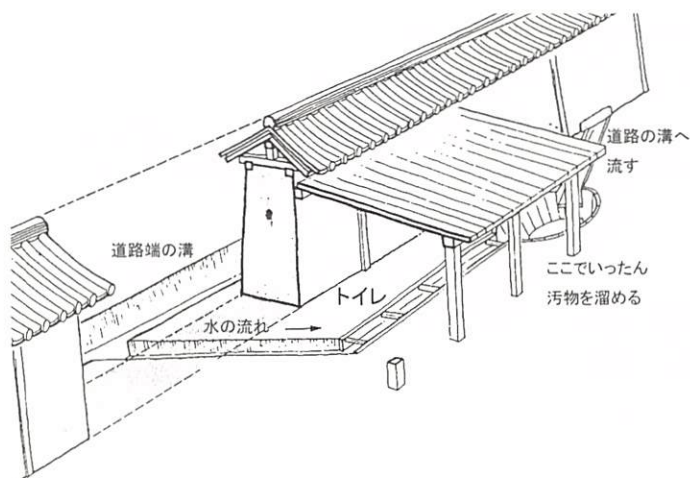
長屋王木簡

ながやおうけ

だいいちかいもんこ

らじょうもん

かっています。溝の中の土から多量の寄生虫卵が見つかったことから、トイレであったのではないかと考えられました。また、当時はトイレトーパーはなく、ちゅう木という木切れを使っていたから、ちゅう木がたくさん発掘されるとトイレである可能性が高くなります。ただし、そこが肥溜めであったとも考えられるため、まだ決定はできていません。



平城京の水洗トイレの推定図

平城京では、北側にある平城宮の標高が高く、南に下がるほど低くなるので、衛生面も考えて都が建設されていたのかもしれませんが。

(5) 伝染病の流行

735年に天然痘と思われる伝染病が九州の大宰府近辺で流行し始めます。天然痘とは、天然痘ウイルスを病原体とする感染症です。人に対して非常に強い感染力を持ち、致死率が平均で約20%から50%と非常に高い病気です。737年には平城京をはじめ、日本列島全域で大流行しています。『続日本紀』には、「今年の春、疫瘡えきそうが大発生した。初めは筑紫から広がって、夏から秋にまで大流行した。公卿以下天下の百姓は相継いで死んでしまい、死者は数えきれない。まったく未曾有の事態である。」と記されています。

奈良時代は、唐や新羅といった海外との交流も盛んで、平城京のように都市の人口が増加した時代です。グローバル化と都市への人口集中という、現代社会と似たような状況だったのかもしれませんが。

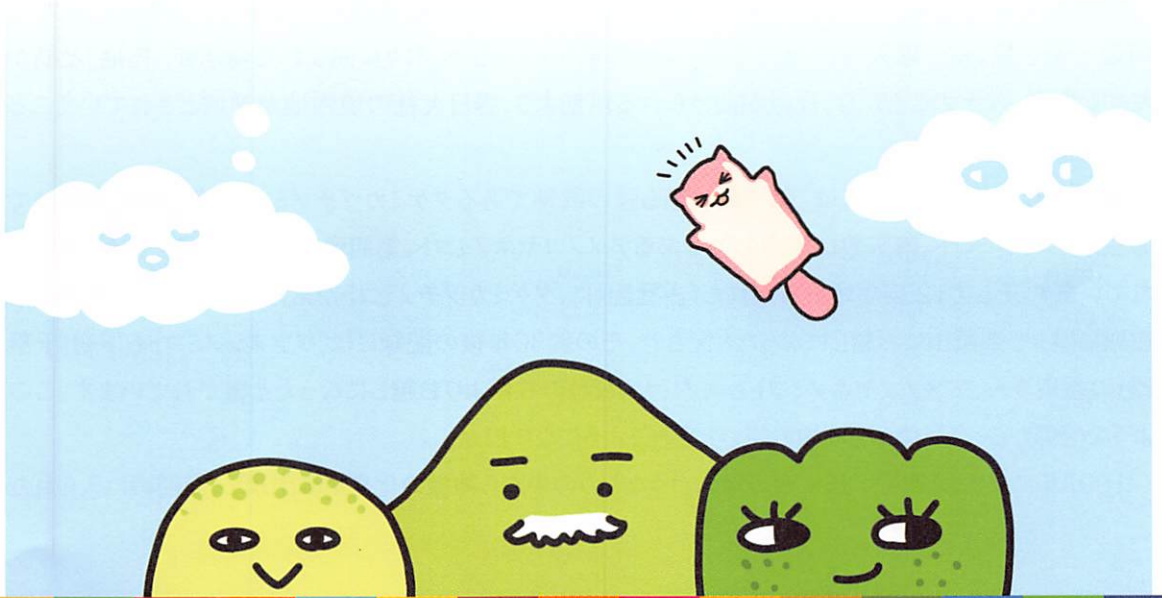
3. 考えてみよう

平城宮跡の保存については、これまで三度の問題状況が生じましたが、その都度、研究者や住民などによる反対運動があり、今に至っています。

	平城宮跡保存への問題	結果
1962年	近鉄が西大寺駅に隣接する平城宮跡の地域内に車庫を建設する計画	近鉄が計画変更
1966年	国道24号線バイパス建設による東院部分の破壊	1968年 バイパスのコース 変更
2000年	平城宮跡の地下に京奈和自動車道大和北道路を建設する計画	トンネル案は白紙撤回

◇「開発か保存か」の問題は、平城宮跡だけでなく、どこでも生じている問題です。皆さんの身近なところでも生じているかもしれません。次の①～⑤の例の中からひとつを選んで、自分の考えを書いてください。

- ①海岸を開発し、みんなが楽しめる公園にする。
- ②草原を開発し、たくさんの人が住むことができる都市を建設する。
- ③古墳を開発し、ショッピングモールを建設する。
- ④渓谷を開発し、水力発電のダムを建設する。
- ⑤自然環境を守るために立ち入り禁止にする。



春日大社



ちゅうもん おろう
中門・御廊



1. 神域に創建された春日大社

平城京の守護神として、また藤原氏の氏神として、4棟の本殿を設け、春日大社が創建されたのは768年です。717年に第九次遣唐使派遣に当たり、御蓋山みかさやまの南麓において航海の無事を祈るための祭祀が行われたことが『続日本紀』に記されています。正倉院宝物のひとつで、756年に東大寺周辺一帯を描いた『東大寺山堺四至図』とうだいじさんかいしずには御蓋山のふもと、木々に囲まれた場所が「神地」と描かれています。以上のことから、社殿が設けられる以前より、春日大社の境内地が神域とされていたことがわかります。

春日大社の4棟の本殿には、第一殿に最も強い武神であるタケミカヅチノミコト、第二殿にも武神であるフツヌシノミコト、第三殿に知恵の神であるアメノコヤネノミコト、第四殿に女神であるヒメガミが祀られています。そして1234年頃に書かれた『古社記』に、タケミカヅチノミコトが常陸国ひたち(茨城県)の鹿島から白鹿に乗って御蓋山にお越しになったと記され、その約30年後の記録には、フツヌシノミコトも下総ひらおか(千葉県)の香取から、アメノコヤネノミコトも河内(大阪府)の枚岡よりお越しになったと書かれています。このような信仰から、奈良のシカは神の使いとされるようになりました。

1003年になり、第四殿の床に水の塊のようなものの中から神様の化身が御出現し、第四殿に入られた

とされています。若宮様です。1135年には若宮神社がつくられ、その翌年の9月17日に、天下太平、五穀豊穰、万民和楽を祈って、春日若宮おん祭がはじめられています。

2. ここが大切

(1) 式年造替^{しきねんぞうたい}

春日大社では神様への感謝の心として、20年ごとに社殿を建て替えています。奈良時代から平安時代中期までは、建て替えの間隔は不定期でしたが、鎌倉時代より20年に一度の式年造替が定着し、今に至っています。

明治時代以降は、国宝に指定されたこともあり、建て替えができなくなりましたが、大修理の形で20年ごとの造替を続けています。20年ごとに造り替えることで、神事や技術、方法が親から子へ、棟梁から弟子へと、人から人へ直接伝えることができます。

江戸時代まで行われていた造り替えでは、社殿は「春日移し」といって、近隣の関係の深い神社に移築されています。

(2) 春日大社の灯籠

春日大社には三千基ほどの灯籠があります。三千基の8割以上が商人を中心とした一般の方々が奉納されたものです。平安時代末に若宮神社が創建されたことより、若宮神社と本殿を結ぶ御間道^{おあいみち}は特に重要な参道となり、全国にある室町時代の灯籠の7割近くがここに 있습니다。灯籠をよく見ると、奉納された方の名前や商店名が刻まれています。多くの庶民が協力して奉納した灯籠の代表として、二之鳥居南側には「千人灯籠」と呼ばれる灯籠があります。およそ800人の名前が刻まれています。同じく二之鳥居の東側にシカがくわえている巻物から水が出ている伏鹿手水所^{ふせしかのみずしよ}がありますが、そのすぐ近くに、灯籠下部の台座のところにシカが刻まれている灯籠があります。かわいいですよ。他にも鶴亀、孔雀、鳳凰^{ほうおう}など、いろいろとあるので、関心のある人はゆっくり見てください。ただし、倒れてくる可能性があるため、灯籠には触れないようにしてください。



すどうてんのうしゅ
春日大社から移築された崇道天皇社の社殿



御間道



台座にシカが刻まれている灯籠

(3) 春日大社と興福寺

1868(明治1)年に明治政府から出された「神仏判然令」までは、日本中の神様と仏様は融合していました(神仏習合)。春日大社は藤原氏の氏神であり、興福寺は氏寺でしたので、春日社と興福寺は一体であると考えられていました。そして、春日大社のタケミカツチノミコは不空羅索観音ふくろうけんさくかんのん、フツヌシノミコは薬師如来、アメノコヤネノミコは地蔵菩薩、ヒメガミは十一面観音、若宮は文殊菩薩として信仰されてきました。本来、塔は仏様の舍利しゃりを祀る施設ですが、春日大社には、東西2つの五重塔がありました。奈良国立博物館のなら仏像館の南側に、塔跡が残っています。

(4) 春日若宮おん祭

毎年12月17日に春日若宮おん祭が大和一国をあげてのお祭りとして、1136年以来、一度も途切れることなく続けられています。このおん祭のポイントについて、春日大社宮司である花山院弘匡氏かさんのいんひろただは、次の5つを挙げて紹介しています。

① 御湯立と大宿所祭

12月15日の大宿所おおしゆくしょで行われる巫女みこによる煮え立った湯によるお祓はらいと神事。奈良町で古くから親しまれている「のっぺ汁」が境内で振舞われます。

② 遷幸の儀と還幸の儀

12月17日午前0時に若宮本殿から、奈良国立博物館の南側に設けられた御旅所の御仮殿へ若宮様がお出ましになるのが遷幸の儀、お帰りになるのが還幸の儀です。御旅所までの1kmほどの道中は、先導役が地面にこすりつけながら進む松明さかき以外は何の明かりもありません。櫛じにんを持った神人が神様を取り囲みながら進んでいく、春日大社にだけ受け継がれている古代以来の神事です。

③ お渡り式

現在は正午に県庁前よりスタートし、JR奈良駅方面に向かい、その後三条通りを興福寺から一之鳥居、そして御旅所に向かう時代行列です。一番に日使せいのお(関白の代理)、二番に巫女、三番には細男、その後、猿楽、田楽と続き、十二番には江戸時代より加わった郡山藩や高取藩の大名行列が進んでいきます。この行列には1,000人以上の人々が参加しています。途中には馬出橋からお旅所まで、2頭の馬による競馬けいば、子どもによる流鏝馬やぶさめ、大名行列の奴やつこによる毛槍の受け渡しなどの見所があります。

④ 松の下式

お渡り式途中の一之鳥居東側に、影向ようごうの松と呼ばれる松があります。この松に春日大明神が翁の姿



御湯立



おん祭お渡り式

で現れ、^{まんさいらく}萬歳楽を舞われたという故事にちなみ、お渡り式に参加する芸能集団はこの影響の松の前で必ずとどまり、芸能の一部を奉納します。この影響の松は、世界文化遺産である全国の能舞台の背景に描かれている松です。

⑤ ^{おたびしよさい}御旅所祭

お渡り式が御旅所に到着すると御旅所祭が始まります。御旅所に設けられた御仮殿におられる神様に喜んでいただくために神事芸能が何時間もかけて行われます。芝舞台の周りから、神様と共に神事芸能を拝見することができます。神様と一緒に楽しませていただくというのが、祭りの中心です。芸能奉納は、夜の10時30分までに終わり、還幸の儀へと進んでいきます。



3. 考えてみよう

(1) 若宮神社から本殿までの御間道の周辺に、ナギの樹林があります。ナギは針葉樹の仲間ですが、その葉は肉厚な楕円形で表面がツヤツヤしており、針葉樹には見えません。葉をよく見ると、広葉樹の葉とは違って、葉脈が縦に平行に走っているの見分けがつくでしょう。自生したのではなく、いつの時代か神木とし献木されたり、植樹されたりしたものが樹林になるまで育ったと考えられています。国の天然記念物に指定されていますので、葉っぱをちぎったり、持ち帰ったりしないでくださいね。



ナギの葉

◇さて、このナギは奈良公園内に少しずつ広がってきています。他の樹木は増えないのに、ナギはなぜ増えてきているのでしょうか？ シカとの関係から考えてみてください。

(2) 明治に入るまで、春日大社と興福寺が一体であったように、神仏習合は日本の宗教の特徴です。日本古来の宗教は神道です。飛鳥時代には崇仏派の蘇我氏・聖徳太子と排仏派の物部氏の間で争いがありましたが、その後は仏教を柔軟に受け入れ、対立することなく今に至っています。

◇現在の世界の状況をふまえ、神仏習合のよさを考えてみてください。

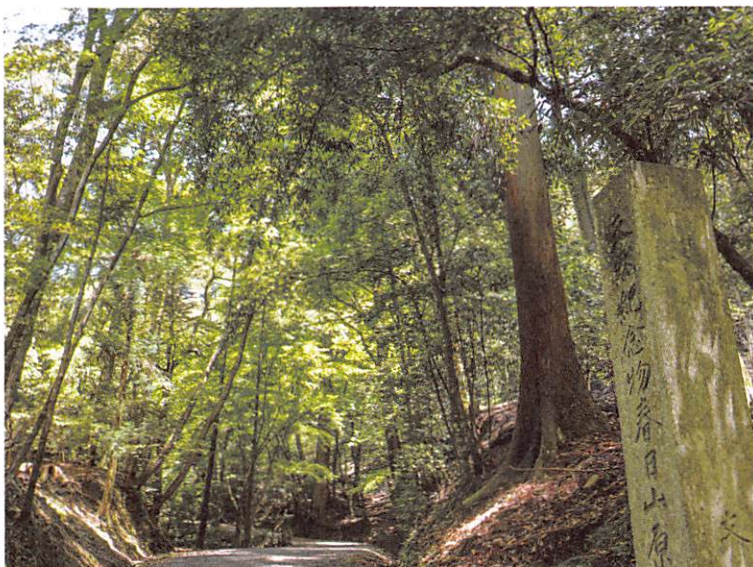
(3)春日大社には、^{やまのうえのおくら}山上憶良が詠んだ万葉歌碑が2つあります。

秋の野に 咲きたる花を ^{およびを}指折りかき数ふれば ^{ななくさ}七種の花
萩の花 ^{くずはな}尾花葛花 なでしこの花 おみなえし また ^{ふじばかま}藤袴 朝顔の花

どちらも秋の草花を詠んだ歌です。

◇みなさんも歌を詠んでみましょう。ポイントは5・7・5・7と続けていくことです。自然と万葉集の歌らしくなっていきますよ。

春日山原始林



1. 春日山原始林の概要

春日山は、春日大社の神山、御蓋山の背後に位置する森林で、841(承和8)年、春日大社の神域として狩猟・伐採を禁じられて以来、1,000年以上にわたり保護されてきました。明治以降は、奈良公園の一部となり、1924(大正13)年には、都市部に原生の姿を残す森林とその植生が貴重であることから「春日山原始林」として国の天然記念物に指定されました(その後、1955年に特別天然記念物に指定)。この場所にはシイ・カシ類の常緑広葉樹や、スギやモミなどの針葉樹の大木が非常に多く、太古の森の風景が残っています。また、春日大社と一体となった景観が高く評価され1998(平成10)年に世界遺産「古都奈良の文化財」の一つに登録されました。

(1) 森の中には、シカやイノシシのほか、ムササビ、テン、リスなどの哺乳類、キビタキ、アオゲラなどの野鳥、タゴガエル、トノサマガエルなどの両生類やシマヘビなどの爬虫類、オオセンチコガネ、ヒメハルゼミなどの昆虫類など様々な生き物たちのすみかとなっています。

春日山は、標高497.7mとあまり高くありませんが、尾根と谷が複雑に入り組んだ地形となっており、佐保川、水谷川(吉城川)、率川(菩提川)、能登川といった複数の川の源流となっています。奈良時代以降、貴重な水資源の供給の場と考えられます。原始林内の源流域や分水嶺には、春日大社の末社が複数

祀られており、今も信仰の対象となっています。

一方で、春日山は厳密な意味で「原始林」ではありません。禁伐地となって以降も、一部地域では興福寺・東大寺の仏事で使う「シキミ」、「サカキ」を利用したほか、16世紀に豊臣秀吉によってスギ1万本が植樹された記録が残ります。近代になっても、観光開発、台風被害の折に在来種を植樹するなど、その当時の人々の手によって様々な関わりがありながらも一定の自然環境が保たれてきました。

(2) 現在、奈良県では「春日山原始林保全計画」を立て、春日山原始林の照葉樹林しょうようじゅりんの自然環境が今後も維持・循環していくように下のような目標を掲げ、研究者や市民団体と連携して保全活動を進めています。

春日山原始林の保全の目標

古都奈良の貴重な財産である春日山原始林の持続的な森林更新こうしんを促し、人やシカとも共生できる森林を保全再生することを目標とする。

2. ここが大切

(1) 森の中の仏像

春日山原始林を歩いていると「天然記念物春日山原始林」と書かれた標柱が現れます。その付近に、仏様の頭だけで体が六角柱になっているのが「洞の仏頭石ほら」です。原始林内への立ち入りは禁じられているので近くで見えることはできませんが、頭の下ほらの六角柱の各面には、観音様が彫られており、非常に珍しいものです。



洞の仏頭石

(2) シイ・カシ類の大木

森へ入ると枝を大きく広げた大木を多く見ることができます。これらは、年間を通じて緑の葉をつけている「常緑広葉樹」のうち、シイ・カシ類というどんぐりのなる木々です。常緑広葉樹の森は「照葉樹林」と言われ、植生の移り変わりの中でも森の最終形態きよくそうりん(極相林)となっています。年間を通じて葉が茂っているため、森の中は木漏れ日のさす、薄暗い状態となっています。木1本が広げる枝の広さを観察してみましょ。また、周辺にその木の若木があるかも合わせて確認してみてください。

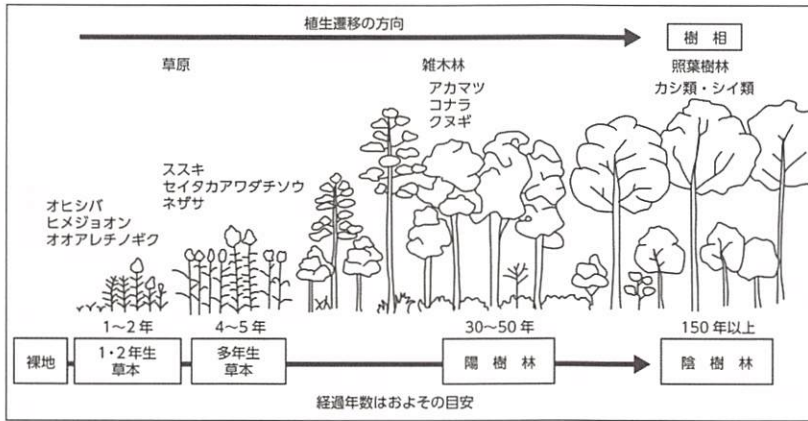


大きく枝葉を伸ばすイチイガシ

(3) 地面の様子

森の中では、所々日当たりの良い場所があります。この空間はそれまであった木が倒れるなどして空いたものです。ここには、本来生えてくるべき、シイ・カシ類ではなく、シカが食べないシダやナンキンハゼが生えています。特にナンキンハゼは、昭和初期に街路樹として植えられた外来種です。現在、春日山だけでなく、奈良公園全体で増えており課題となっています。また、それ以外の地表部分は植物がほとんど生えておら

ず、木々の根が露出している状態です。現在の春日山原始林は下草(下層植生)^{したくさ}がほとんどなく、乾燥化が進んでいるといわれています。また、台風などによる倒木や土砂崩れなども起きています。



資料:石井実「里山の生態学」(石井実、植田邦彦、重松敏則著「里山の自然を守る」)築地書簡



台風による倒木

(4) シカの痕跡

春日山原始林の中では、シカに出会うことは滅多にありません。しかし、森の中を注意深く見ると、シカが葉っぱをかじった跡や、角を木に擦り付けた跡などを見ることができます。奈良公園ほど多くはありませんが、春日山原始林の中にもシカが多く暮らしていることがわかります。



シカによる角研ぎ跡



倒木で明るくなった地表から生えるナンキンハゼ



佐保川の源流にあたる鶯の滝

3. 考えてみよう

◇春日山は、どうして禁伐の森となったのでしょうか。



シカの保護柵

◇春日山原始林はどうして保全が必要な状態になっているのでしょうか。

◇あなたが考える春日山原始林の価値はどんなところですか？

コラム

ナラ枯れと森のエネルギー

春日山原始林のシイやカシの大木が枯れているのを目にすることがあります。これらの多くは「ナラ枯れ」という病気が原因です。ナラ類やシイ・カシ類に小さな甲虫(カシノナガキクイムシ)が大量に侵入すると虫と共生しているナラ菌が繁殖し、短期間で木を枯れてしまいます。

原始林以上に、全国の里山が大きな被害を受けています。流行の原因として考えられるのが、里山利用の減少です。昔はクヌギ・コナラ材を定期的に伐採し、薪(エネルギー源)としていたため、被害も広がりにくかったようですが、エネルギー源が薪から電気・石油と変化したことで、木を切らなくなりクヌギ・コナラの大木に大量に侵入・その後大量に発生するという悪循環に陥っています。

ならまち



ならまちにぎわいの家



1. 「ならまち」という地名はない!

古い町並みを目あてに、今や観光客が多く訪れるならまちですが、「ならまち」という地名は存在しません。

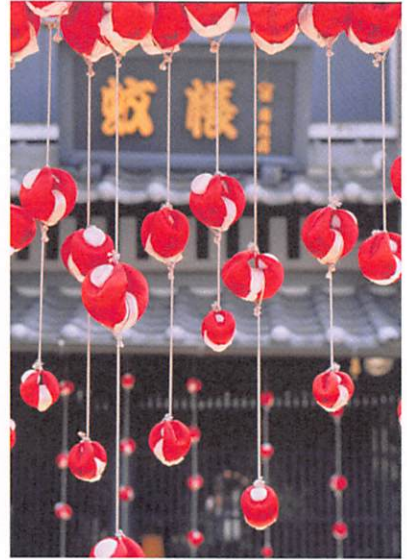
元興寺は、平安時代以降、急速な衰退を重ね、だんだんと寺の範囲が狭くなっていきました。寺としての機能が放棄された場所には、いつしか人が住みついて家を建てていくことになり、その規模がどんどんと広がっていった結果、戦国時代の後半から江戸時代にかけて、後に「ならまち」と呼ばれていくことになる市街地が生み出されていくことになりました。人が住み着いた地域では、様々な産業(筆、墨、蚊帳、晒、布団、刀、酒、醤油しょうゆなど)が発展し、江戸時代には有力な商工業のさかんな地域となりました。様々な物資が集まり、様々な物が売り買いされる商業の拠点として、観光地として、現在以上に多数のお店が軒を連ねる空間であったともされています。また、江戸時代中期には、猿沢池界隈が「お伊勢参り」の宿場町として栄えたこともあり、明治から昭和にかけては奈良の商業の中心地となりました。

ならまちには、「奈良格子ごうし」と呼ばれる、太くて間隔の広い格子が特徴の町屋が数多く残っています。シカが暴れても、家も守れるシカも傷つけない方法として編みだされたようです。また、外から中は見えにくく、中から外はよく見える性質があって、今でいうレースのカーテンのような役割もあります。

2. ここが大切

(1) 庚申さんこうしん

ならまちを歩いていると、軒先に「身代わり申みがざる」と言われる人形が吊るされている家をよく見かけます。言い伝えによると、人の体の中には三尸さんしの虫がいて、60日に一度回ってくる庚申の日の夜に、人が寝ているあいだに体から抜けだし、天帝にその人の悪事を告げにいくのだそうです。その報告により寿命が決まるというので、人々は庚申の日は、「庚申講」といって町内で一か所に集まって、食事やお酒を楽しみながら、寝ずに「庚申さん」を供養したといいます。今でも、さすがに一晩中というわけではありませんが、庚申講は行われています。この身代わり申は、災いを代わりに受け止めてもらって家の中に入ってこないようにと、願いごとが書かれていたりします。大きいのが大人、小さいのが子どもとされ、



身代わり申

家族構成に合わせて吊るされています。

では、なぜ猿なのでしょう。伝説では、悪病や災難を持ってくるといわれる三尸の虫は、猿が毛づくろいする姿をみて、自分たちを食べる様子に見えたので、恐れをなして逃げたそうです。三尸の虫がもう一つきらいなものが、こんにゃくだそうです。そのため毎年3月の第2日曜と11月23日に、「庚申まつり」が行なわれ、参拝者に大根とこんにゃくの田楽がふるまわれています。



庚申堂

(2) 陰陽町

今では「いんようちょう」と呼びますが、以前は「いんぎよまち」「いんぎょうちょう」などと呼ばれていました。字のとおり、このあたりには時間と暦を司る陰陽師おんみょうじたちが住み、奈良暦ごよみ（南都暦）を作っていたそうです。町内には、陰陽道の天帝あめのみなかぬしのかみ「天御中主神」を祭神とする鎮宅靈符神社ちんたくれいふがあり、ここにある二体の狛犬こまいぬは、なぜか満面の笑みをたたえています。



狛犬

3. 考えてみよう

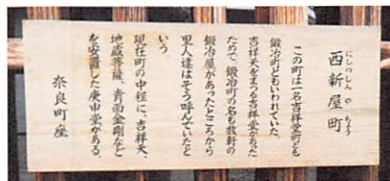
ならまちは、もともと元興寺の境内であったところに家が立ち並んでできた地域です。



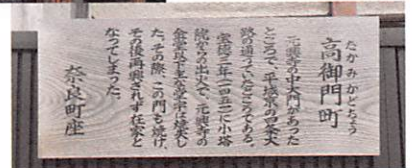
ピンクの地域がもともとの元興寺(ならまちといわれるところ)
水色の地域が元興寺の中心だったところ

ならまちを歩くときには、町名に注目しながら歩いてみてください。ここが元興寺のあったところだという名残りが感じられます。

- 〇〇院町(寺の中にあつた小さな寺院)
- 〇〇堂町(仏像などが収められていた建物)
- 〇御門町(元興寺にいくつかあつた門)
- 〇新屋町(新しく家が建てられたところ)
- 〇辻町、〇辻子町(道が交差しているところ)
- 〇〇突抜町(道がなかったところを貫通して新たに道をつくつたところ)



このように町名の由来を説明する看板も見かけられます。探してみてください。



地名や町名には、みなさんの名前と同じように、必ずその由来や理由があります。自分の地域の地名の由来を調べてみると、新たな気づきや歴史との出会いがあると思います。

◇ならまちのことをいろいろ知る中で、どんなところが、SDGsの何と関連があるか考えてみましょう。

コラム ならまちでは、こんなSDGsも学べるよ②

ふんちゅう ならまち糞虫館

奈良公園には多くのシカが生息し、そのため雨上がりなんかには、辺り一面が動物園のような香りに包まれますが、不思議なことにシカの糞が散乱しているという状況はあまり見かけません。シカの糞をせっせと片づけてくれるルリセンチコガネ等の糞虫のおかげです。奈良公園は、糞虫がシカの糞を分解し、それが養分となって芝が育ち、その芝をまたシカが食べて糞をする。自然のサイクルを見事に作り出している立役者の、そんな糞虫を多数展示しているのが、ならまち糞虫館です。



ルリセンチコガネ

奈良のシカ



1. 奈良のシカと人の歴史

奈良公園ではたくさんのシカを見ることができます。最近では、全国でよくシカを見かけるようになったとか、畑などでのシカの食害といった話題をよく耳にするようになりました。奈良のシカも、全国のシカと同じニホンジカです。でも1つ大きな違いがあります。それは、奈良のシカは人を見ても逃げない、近寄ってくるものもあります。では、なぜ奈良のシカだけが人に慣れているのでしょうか？

(1) 奈良のシカは神の使い

710年に藤原京から平城京に遷都されます。そして768年に平城京を守護することを目的に、春日大社が創建されます。春日大社には4柱の神様がおられますが、その第1神であるタケミカヅチノミコトは茨城の鹿島神宮からお越しになるときに、白鹿に乗ってやってこられたという言い伝えがあります。そのため、シカは神の使いという位置づけを与えられることになりました。平安時代には藤原氏などの多くの貴族が、春日大社に参拝に訪れていますが、その際にシカを見ることができると吉兆であると喜んだという記録が残っています。



かすがしきまんだら
春日鹿曼茶羅

(2) 三ヶ大犯

いつのころからか時代ははっきりしませんが、室町時代以降には三ヶ大犯という奈良だけの掟おきてがあったことがわかっています。三ヶ大犯とは、絶対にやってはならないこと、それを犯した者は死刑に処するという厳しい掟です。その絶対にやってはならないことの一つがシカを殺すことでした。

興福寺の五重塔の東南にある菩提院大御堂おほみどうには、十三鐘がねというお話が残っています。13歳であった三作という少年が、習字の練習をしていたところ、シカがやってきてせっかく書いた半紙をくわえて行ってしまいました。三作はカッとなって、習字に使っていた卦算けさん(文鎮のような物)をシカに投げつけたところ、当たり所が悪く、シカが死んでしまいました。「鹿殺し」です。そのため、三作はシカの死体と一緒に石子詰めいしこづにされたという伝承です。江戸時代になってこの話をもとに近松門左衛門じょうるりが浄瑠璃「十三鐘」をつくったことで有名です。

(3) 鹿格子(奈良格子)

江戸時代にシカの角で人がけがをしたり、シカどうしが突き合ってけがをしたりするのを防ぐために、毎年シカの角きりが行われることになりました。今は鹿苑ろくえんで行われていますが、明治時代の初めころまでは、見物人を集めて町中でも角きりが行われていました。シカは嫌がって逃げ回ります。そのときにシカの角で家の格子が壊されることを防ぐために、奈良町の家々の格子は、かまぼこ型の太い木材が使われるようになったといわれ、その丈夫そうな格子を鹿格子あるいは奈良格子と呼んでいます。



鹿格子のある家

(4) 隠れた奈良の名所 - 鹿垣しかがき

せっかく実った農作物を、野生動物に食べられては大変です。日本中のあちらこちらにイノシシによる食害から田畑を守る猪垣ししがきがあります。奈良のシカは神鹿しんろくですから、捕まえたり殺したりすることはできません。でも田畑は守らなければ



春日山のふもとに残る鹿垣

なりません。そこで、農民たちは、春日山からシカが出てくるのを防ぐために垣根を作りました。それが鹿垣です。高さ2mほどの土塀をめぐらせ、毎年、補修をしていたようです。春日山のふもとのあたりに、土塀の跡がずーっと続いているところを見ることができます。

(5) 天然記念物「奈良のシカ」

奈良時代に神鹿として幕府や社寺によって保護されてきた奈良のシカですが、明治維新後は社会状況の変化に伴い、頭数が38頭まで減少したこともありました。しかし、奈良に住むシカを愛する人々による訴えにより、保護地域の設定や団体の設立など、市民がシカの保護に取り組むようになりました。第二次世界大戦後には79頭まで減少しましたが、その後は行政も積極的に保護に取り組み1957(昭和32)年天然記念物に指定され、1970年代以降は1,000頭以上で推移しています。

一方で、天然記念物に指定されたシカは「奈良市一円に生息する」とされたため、頭数の増加に伴い、農業被害も頻発、一部では訴訟も起こりました。長年、課題となっていました。現在、奈良県を中心に保護管理計画をつくり、エリアによっては捕獲による管理を行うなど、対策が進められているほか、農村地域での獣害防除柵の設置が進められています。

(6) 奈良のシカはどんな状態か

奈良公園内に生息するシカは、1970年代から50年間にわたり1,000頭以上で推移しています。この頭数は春日山を除く奈良公園の平坦部と若草山で毎年計測されています。生息している面積に対する頭数としては過密状態であるため、初産の時期が遅くなっていたり、食糧となるエサ資源が少ないため栄養状態も良くありませんが、外敵に襲われる可能性が低いと、寿命が長いことが報告されています。



2. ここが大切

(1) シカが作り出す景観

奈良公園を歩いていると大木や木々に覆われているものの、地面から2mくらいの高さはすっきりと見通しが良くなっています。これは、シカが届く範囲の木々の葉を食べることで生まれた景観で「ディアライン(ブラウジングライン)」と呼ばれています。

(2) シカは何を食べている?

奈良公園のシカといえば「鹿せんべい」を食べていると考えている人も多いと思いますが、実際には芝を中心に広葉樹の葉やどんぐり、他地域では食べることもない落ち葉なども食べています。

近年では観光客等による鹿せんべい以外の給餌や、プラスチックゴミの誤食など、人に慣れていることによって起きる問題も生まれています。

(3) 奈良公園の昆虫

春から初秋にかけて、奈良公園では美しい瑠璃色の甲虫をよく見かけることができます。これは、ルリセンチコガネ^{こうちゆう}といわれるフンコロガシの仲間です。奈良公園はシカの糞が多いため、糞虫の仲間が非常に多く生息し、シカの糞を食べることで、最終的に芝や土壌の栄養となっています。



ルリセンチコガネ



3. 考えてみよう

(1) 奈良の人とシカ

奈良のシカは神の使いとされてきました。三ヶ大犯という掟もありました。また、農家の人たちは、シカから田畑を守るために、鹿垣を築いて補修し続けるといった苦労もありました。

江戸から明治に時代が変わり、最初の県令として着任した四條隆平^{しじょうたかとし}は、鹿狩りをしたうえで春日野に

大鍋を持ち出し、すき焼きをして見せました。シカを殺しても天罰などなにもない、神鹿というのは迷信に過ぎないことを人々に知らせようとしたのでしょう。

◇それを見た奈良の人たちは、

- ① 県令を見習い、自分たちも鹿狩りをするようになった。
- ② 県令の行いを冷やかに見るだけで、鹿狩りをしようとはしなかった。

①と②のどちらかを選び、選んだ理由を書いてください。

(2) 奈良のシカは幸せか？

奈良県では「100年後も、奈良のシカが変わらず奈良公園に元気で暮らしていること」を目標に「奈良のシカ保護管理計画」を策定しています。

◇奈良のシカが元気であり続けるために、あなたが最も必要だと思うことはどんなことですか？

(3) 奈良のシカとプラスチックゴミ

近年、死亡した奈良のシカの胃袋から大量のプラスチックゴミが出てきて、大きな話題となりました。世界でも海中のレジ袋をウミガメがクラゲと誤食して死亡する例など、使い捨てプラスチックや環境中で分解されない微小なマイクロプラスチックは世界的な課題となっています。

◇使い捨てプラスチックの問題において対策はいくつかありますが、以下の3つのうち、あなたが一番有効だと考える行動はどれでしょうか？一つを選び、選んだ理由を書いてください。

- ① 使い捨てプラスチックをできるだけ使わないようにする。
- ② 生分解性プラスチックの製品を選ぶ。
- ③ ゴミの分別をしっかりと行う。



しかまるくん

©奈良市観光協会

コ ラ ム

ごみ分別運動にも活躍する「奈良のシカ」

古くから人々に愛されてきた奈良のシカは、現代の奈良でも「ご当地キャラクター」として利用されており、県内に約40体の鹿をモチーフとしたキャラクターがいるそうです。特に有名なのが奈良県の公式キャラクター「せんとくん」。平城遷都1300年の際に公式キャラクターとして登場して以降、全国的な認知度をもっており、現在では奈良のキャラクターといえば「せんとくん」というイメージもあるのではないのでしょうか。

一方、ここ数年人気があるのは、公益社団法人奈良市観光協会のキャラクター「しかまるくん」です。2013年5月から公式キャラクターとして登場し、国内外で国際文化都市奈良をPRしています。関連グッズなども数多く販売され、お土産物屋さんでもその姿を見ることができます。

このしかまるくんが、実は市民にも愛されるキャラとして活躍しています。奈良市は2015年に導入したごみ分別アプリのアイコンにしかまるくんを採用。アプリ導入の翌年は6%ものごみ減量につながったそうです。家庭系ごみの収集においては、焼却する可燃ごみと古紙やプラスチックなどリサイクルできる再生資源とをしっかりと分別することは、可燃ごみの総量を減らすことにつながるため非常に重要です。しかまるくんのごみ分別アプリの利用が増えることで、市民の分別収集への理解が進むだけでなく、職員への問い合わせの減少にもつながり

業務の効率化も図られているそうです。2020年10月からは食品ロス削減を目指す「てまえどり運動*」においてもキャラクターとして採用されています。

近年プラスチックごみの誤食など苦しんでいる現実の「奈良のシカ」については、市民の有志による多言語の啓発ポスター掲示やごみ拾い活動なども展開されていることを考えると、ごみ問題に対するしかまるくんの頑張りも頷けるものがあります。

*コンビニなどで、直ぐに消費する食品は陳列棚の手前にあるものから購入すること。



しかまるくんの
ごみアプリ



奈良公園ゴミゼロプロジェクトのポスター

「奈良市ごみ分別アプリ」QRコード



Apple store



Google play

法隆寺地域の仏教建造物



西院伽藍



1. 仏教建造物の博物館

法隆寺地域の仏教建造物は、1993年に姫路城と共に、日本の世界文化遺産第1号として登録されました。この世界遺産の構成資産は、法隆寺と法起寺^{ほつきじ}です。法隆寺は西院及び東院と子院群で構成されています。西院は7世紀後半から8世紀初頭にかけて再建されたもので、東院は8世紀前半に建設されたものです。また、法起寺は7世紀に創建されましたが、現在は、706年に建立された三重塔が残っています。6つある登録基準のうち、i・ii・iv・viが認められました。これらの登録基準とそれに対する適合理由を文化庁のホームページから抜粋します。ぜひ実際に訪問し、法隆寺地域の仏教建造物がもつ普遍的価値を体感してください。

法隆寺地域の仏教建造物が認められた登録基準

- (i) 人間の創造的才能を表す傑作である。「法隆寺地域の仏教建造物」は、全体的な意匠と細部装飾の双方の点において、木造建築の傑作である。
- (ii) 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
これらは、日本に仏教が伝来した直後にまでさかのぼる当国最初期の仏教建造物であり、後代の宗教建築に重大な影響を与えた。

(iv)歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。法隆寺の建造物は、中国の仏教建築及び伽藍配置が日本文化に取り入れられ、後代に日本特有の様式を発展させたことを示している。

(vi)顕著な普遍的価値を有する出来事(行事)、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある。日本に仏教が伝来し、聖徳太子がこれを広めたことは、この文化圏に広く仏教が流布する上での重要な段階であったことを示している。

日本には、8世紀以前に建立された木造建造物が28棟ありますが、そのうちの11棟がここに集中しています。また、世界最古の木造建築だけでなく、それぞれの時代の建物を見ることができ、日本の仏教寺院建築の変遷を目の当たりにすることができます。

西院の金堂・五重塔・中門・回廊等及び法起寺の五重塔:7世紀後半~8世紀初頭
(エンタシスをもつ柱、雲形の斗や肘木は6世紀頃の中国文化の影響)

東院の夢殿・伝法堂:8世紀前半

東院の回廊・僧房等:13世紀

子院(高僧が弟子と共に生活する住居と仏堂などで構成される小寺院):13~17世紀

2. ここが大切

(1) 百済観音立像(大宝蔵院)

像高209cm。クスノキ材の一木造。飛鳥時代前期(7世紀前半から中葉)の作です。

奈良時代の人は観音菩薩の大きさはどれぐらいだったと想像していたのでしょうか。「観無量寿経」に西方極楽世界には阿弥陀仏がおられ、その左隣の蓮の花に観音菩薩が座り、右隣の蓮の花の上に大勢至菩薩が座っておられる。そして阿弥陀仏の高さは、六十万億那由他恒河沙由旬であり、観音菩薩と大勢至菩薩の高さは、八十万億那由他由旬であると説かれています。これはどれくらいの高さなのでしょう。まず由旬とは古代インドの距離の単位で、デジタル大辞泉では約11.2kmとされています。那由他も恒河沙も大きさの単位で、那由他は 10^{60} 、恒河沙は 10^{52} とされます。計算してみると、阿弥陀仏の高さは、 $11.2 \times 60 \text{万} \times \text{億} \times 10^{60} \times 10^{52} \text{km}$ となります。

また、観音菩薩と大勢至菩薩の高さは、 $11.2 \times 80 \text{万} \times \text{億} \times 10^{60} \text{km}$ となり、想像することもできない大きさです。仏陀はこのお姿を思い描くことができれば、迷いが消えて、極楽世界に生まれることができると説いています。何とかしてこのとてつもない高さのお姿を思い描きたいものです。

百済観音立像に注目しましょう。この像の後ろの光背を支える支柱が立っています。竹竿のように見えますが、クスノキでできており、よく見ると、その支柱の基部に山岳が描かれているのが見えます。山岳の高さは10cmほどでしょうか。それに対して百済観音立像は209cmで、およそ21倍です。描かれている

10cmの山が標高1,000mの山だとすれば、百済観音立像の高さは21kmほどとなり、エベレストの2.5倍ほどとなります。これなら思い描くことができそうですか？

(2) 法輪寺三重塔

法隆寺がある斑鳩には奈良時代より前に建立された塔が3つあり、斑鳩三塔と呼ばれています。そのうちのひとつ、法輪寺三重塔は世界遺産に登録されていません。1944年に落雷のため焼失し、1975年に再建されているためです。

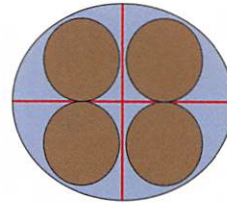
1944(昭和19)年は空梅雨で、斑鳩の人たちもいつになったら田植えができるのかと、雨を心待ちにしていたそうです。7月21日に待望の雨が降って、村の人たち全員が田植えに汗を流していました。その時、法輪寺三重塔に雷が落ちました。村人は急いで法輪寺に駆け付けましたが、当時、若い人は戦争で兵隊にとられて村には残っていません。塔内の仏像などを助け出すのが精いっぱい、目の前で三重塔が焼け落ちてしまった、と法隆寺の宮大工として有名な西岡常一氏が書き残しています。

落雷を防ぐ避雷針も金属供出のため、取り外されていました。

3. 考えてみよう

(1) 中門の柱

中門を入ったすぐの柱に注目してください。大きな柱ですね。かなりの太さの木だったと思われます。でもこの柱は、1本の木から1本の柱をとっているわけではありません。1本の木をそのまま使うと、中心に近い心材とまわりの辺材では、乾燥の仕方が違うため、ひび割れすることがあります。それを防ぐために、図のように、1本の原木から4本の柱材をとっています。ですから、中門の柱材の原木は、柱材4本分の太さがあったと思われます。今の日本にそのような巨樹はあるのでしょうか？



1本の原木から4本の柱材を取る



また、法隆寺の柱をよくみると、ところどころに色が周囲と違っている部分があることに気が付きます。

◇なぜこのようになっているのでしょうか？考えてみましょう。

(2) 西円堂

西院伽藍の北西の丘の上に西円堂があり、薬師如来像が祀られています。南北朝の頃からこの薬師如来の靈験に対する人々の厚い信仰があり、その願い事成就を願って武器や銅鏡などを奉納する習わしがあり、かつて堂内には所狭しと、刀、



西円堂

鏡、甲冑がかけられていました。ところが第二次世界大戦中に国家の非常事態に刀剣などを供出することになり、昭和17年の3月に60余貫という香炉や刀剣500数十本を供出したのをはじめ、11月25日には半鐘3、釣燈籠30、銅鏡1,615枚、刀剣160余本、計約2トンの金属が供出されました。

◇願い事のために薬師如来に奉納された品々は、供出された後、何に作り替えられたと思いますか？

コラム

世界文化遺産の多様性を認めた奈良文書

世界文化遺産は、各国が推薦した文化遺産をユネスコ世界遺産センターが審査します。審査では、国際記念物遺跡会議 (ICOMOS・イコモス) が調査を行いますが、ここで重視されるのが真正性(オーセンティシティ)です。

真正性とは、「歴史的、芸術的に本物であること、創建時と根本的に変化していないこと」に関する基準です。イコモスの基本的な考え方が1964年のベニス憲章に示されていました。ベニス憲章では、「建物の設計と装飾を変更してはならない。」「修復はオリジナルな材料と確実な資料を尊重し、推測による修復を行ってはならない。」とされています。この基準は、石材やれんがを使っているヨーロッパの古代建築物に即していますが、木や泥の文化には適合しません。

法隆寺が1993年に世界遺産に登録された際に、法隆寺の真正性を証明したのは修復の際に捨てることなく保存していた古材です。創建時の古材と現代の建築材を比べた結果、今の建築材が創建時と同じ工法・様式で修復されていることが証明されたのです。

法隆寺が世界遺産に登録されたことが契機となって、1994年に「真正性に関する奈良文書」が採択されました。

文化財がもつ価値についてのすべての評価は、関係する情報源の信頼性と同様に、文化ごとに、また同じ文化の中でさえ異なる可能性がある。価値と真正性(オーセンティシティ)の評価の基礎を、固定された評価基準の枠内に置くことは、このように不可能である。逆に、すべての文化を尊重することは、遺産が、それが帰属する文化の文脈の中で考慮され評価しなければならないことを要求する。

「奈良文書」以前にも木や土の文化財が世界遺産に登録された例はありますが、この奈良文書によって文化遺産の多様性が公式に認められ、石の文化以外の多くの文化遺産が世界遺産に推薦されやすくなりました。

飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群



1. 日本の国の形はここから始まった

聖徳太子、蘇我氏、大化の改新……。明日香村やその近辺には、だれもが教科書で習った人物や出来事にゆかりの地が点在しています。694年、^{じとう}持統天皇は夫の^{てんむ}天武天皇の遺志を受け継ぎ、日本初の本格的な都である藤原京を完成させ、遷都しました。聖徳太子から始まった「天皇を中心とした中央集権国家」の完成です。それまでは、天皇の代替わりがあると必ず都が変わる仕組みになっていましたが、藤原京の完成によって勢力の強い豪族を取り込んで、天皇は権力・権威を象徴する壮大な都市にどっしりと腰を据えて君臨するようになったわけです。

持統天皇と天武天皇は、今につながる様々なことを始めています。たとえば、古事記と日本書紀の^{へんさん}編纂を始め、日本の歴史を明らかにしようとしました。また、唐のような律令国家を目指すため「^{たいほうりつりょう}大宝律令」を作り、法整備を行いました。「大宝律令」の前身であった「^{きよみはらりょう}飛鳥浄御原令」によって、初めて「日本」という国号が用いられたとされています。また、日本最初の貨幣といわれる^{ふほんせん}富本銭も作られました。

藤原京は、わずか16年で終わりを告げますが、その後の平城京で花開く政治や文化の基礎は、ここで始まったといえます。

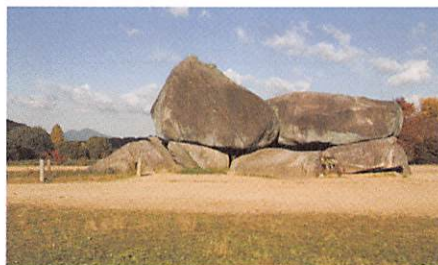
2. ここが大切

(1) 飛鳥寺(法興寺)は、蘇我氏によって6世紀末から7世紀初頭にかけて造営されたもので、本格的な伽藍を備えた日本最初の仏教寺院です。創建した当時からある本尊の釈迦如来像は、高さ275.2cmもあり、飛鳥大仏といわれる日本最古の仏像です。日本書紀には、飛鳥寺の建立にあたっては、百濟から何人もの職人が派遣されたと記されています。



飛鳥大仏

(2) 石舞台古墳は、古墳時代後期に築造された日本最大級の方墳で蘇我馬子の墓ではないかといわれています。現在、墳丘と呼ばれる盛土は失われて、横穴式石室が露出した格好になっています。30数個の花崗岩で組まれた石室は、総重量が2,300トンに及ぶといわれています。特に、石室の2つの天井石は約77トンと約64トンもあって、築造された当時の土木技術の優秀なことが推定できます。いったいどうやって持ってきて積み上げたのでしょうか。



石舞台古墳

(3) 飛鳥宮跡は、藤原京ができる前、7世紀中ごろの皇居・政府のあったところで、古代史の一大事件、蘇我入鹿暗殺(乙巳の変)の舞台として知られています。1,350年以上前にそんな大きな出来事があった場所に立ってみて、当時の様子を想像してみてください。



飛鳥宮跡

3. 考えてみよう

(1) 万葉集に歌われた明日香

みなさんもよく知っている万葉集は、古くは5世紀から8世紀半ばごろまでの歌が全20巻、約4,500首収められています。その中には、明日香を舞台にした様々な歌が収められています。

春過ぎて 夏きたるらし 白妙の 衣ほしたり 天の香具山 (持統天皇)

【現代語訳】春が過ぎて夏がやって来たようです。真っ白な衣が干してありますね。天の香具山に。

元号の「令和」も、万葉集の一節から抜粋されました。万葉集に収められた歌を見ていくと、時代は違っても当時の人々の心情は、現代を生きるわたしたちにも共感できるものがたくさんあるように感じます。

◇次の歌について、情景や意味、その背景などを調べることを通して、現代と似ているところや違っているところを考えてみましょう。

わが里に 大雪降り 大原の ふりにし里に ふらまくは後 (天武天皇)
わがさとに おおゆきふれり おおはらの ふりにしさとに ふらまくはのち

君待つと 吾が恋ひおれば わが屋戸の すだれ動かし 秋の風吹く ぬかたのおおきみ (額田王)
きみまつと あがこいおれば わがやどの すだれうごかし あきのかぜふく

さ檜の隈 檜隈川の 瀬を早み 君が手取らば 言寄せんかも (作者未詳)
さひのくま ひのくまがわの せをはやみ きみがてとらば ことよせんかも

現代と似ているところ

現代と違うところ

(2) 明日香か、飛鳥か

「アスカ」の地名には、「明日香」、「飛鳥」どちらの漢字も使います。なぜ、こんなことになっているのでしょうか。そもそも、「飛鳥」と書いてなぜ「アスカ」と読むのでしょうか。

◇調べてみましょう。

【ヒント：万葉集にこんな歌があります】

飛ぶ鳥の 明日香の里を 置きていなば 君があたりは 見えずかもあらむ

◇みなさんは、明日香村でどんなSDGsを見つけましたか？

紀伊山地の霊場と参詣道



金峯山寺 蔵王堂



1. 文化の多様性の尊重を体現

紀伊山地の霊場とは、修験道の拠点である「吉野・大峯」、熊野信仰(神道)の中心地である「熊野三山」、真言密教(仏教)の根本道場である「高野山」の三霊場及び、それらを結ぶ「参詣道」から構成されており、奈良県・和歌山県・三重県にまたがって存在しています。

霊場	宗教	中心建物	開祖
吉野・大峯	修験道	きんねんじ 金峯山寺	えんのぎょうじゃ 役行者
熊野三山	神道	ほんぐう 本宮大社・新宮大社(速玉大社)・那智大社	自然信仰
高野山	仏教(真言密教)	こんごうぶじ 金剛峯寺	空海(弘法大師)

紀伊山地の霊場と参詣道は、以下の4つの登録基準を満たしていることが認められ、2004年に世界遺産に登録されました。この登録基準に即して、紀伊山地の霊場と参詣道の価値を紹介しましょう。

認められた登録基準	紀伊山地の霊場と参詣道
(ii) 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。	紀伊山地の文化的景観を呈する記念工作物群及び遺跡は、神道と仏教の融合による独特の所産であり、東アジアにおける宗教文化の交流と発展を良く表している。

<p>(iii) 現存するか消滅しているにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在である。</p>	<p>紀伊山地の社寺の境内と関連する儀礼は、1,000年以上にもわたる日本の宗教文化の発展を示す希有な証拠である。</p>
<p>(iv) 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。</p>	<p>紀伊山地は、日本各地の社寺建築に深い影響を与えた独特な寺院建築様式、神社建築様式が生まれる場となった。</p>
<p>(vi) 顕著な普遍的価値を有する出来事(行事)、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある。</p>	<p>紀伊山地の遺跡群及び森林景観は、ともに1,200年以上にもわたり辛抱強く維持され、また非常に良く記録が残されている聖なる山の伝統を映している。</p>

吉野・大峯は奈良時代に役行者によって始められた修験道の聖地です。山上ヶ岳の大峯山寺と山麓である吉野山の金峯山寺で祭祀が行われています。野山に分け入って、自然環境の中で修行することから修行者のことを山伏と呼びます。山にこもることで験力を得ると考えられています。修験道由来で作られた薬に陀羅尼助があります。腹痛に効く薬として、奈良県の家庭の常備薬です。

熊野三山は自然崇拜を基とする神道の聖地で、本宮大社・速玉大社・那智大社の3つから構成されています。平安時代より、皇族や貴族をはじめ、一般の人々も険しい道を越えて参拝しました。神仏習合の影響で、本宮大社=阿彌陀如来、速玉大社=薬師如来、那智大社=弥勒菩薩としても信仰を集めました。

金剛峯寺は平安時代に空海によって開かれた真言密教の聖地です。遣唐使の一員として唐に渡った空海は、長安にあった青龍寺の恵果和尚より密教の教えを授けられました。そして20年の予定を2年で切り上げて帰国し、二大平安仏教の一つである真言宗の基礎を築きました。



熊野本宮大社

2.ここが大切

(1) 蟻の熊野詣

平安時代より、多くの皇族や貴族が、熊野本宮参拝の旅をしています。白河上皇9回、後白河上皇

33回というように、参詣を重ねる皇族や貴族もいましたが、もちろん一人で行ったわけではなく、多くのお供や女官もつきしたがう旅でしたから、苦勞も多かったと思われます。ただ、苦勞が多い方がご利益も大きいという考え方もあったようです。この皇族・貴族の熊野詣になった多くの人たちが熊野をめざす様子が、「蟻の熊野詣」という言葉として残っています。江戸時代になると、熊野詣から伊勢参りへと、人々の旅の行き先は変わっていきました。

(2) 3つの異なる宗教の霊場

ここに含まれる3つの霊場は、異なる宗教の聖地です。この地域では、昔から参拝者は宗教の違いにかかわらず行き来をしていました。参拝者だけでなく、修験者や神官、僧侶も互いに対立することなく共存してきました。世界の歴史に目を向けると、人々の幸せを祈るはずの宗教が原因となって、対立や紛争が生じています。異なる宗教が互いに他を尊重しながら、共存できていることが、紀伊山地の霊場と参詣道の大きな特色です。

(3) 一遍上人の熊野詣

一遍上人は鎌倉時代に時宗・踊念仏を開いた僧侶です。一遍上人は出家して熊野本宮の参拝の旅にでました。「南無阿弥陀仏」の札の霊力で人々を幸せにできると信じて、札を配って歩いていました。しかし、一人の僧侶が、信じる気持ちになれないからと言って、受け取りを拒みます。一遍上人は札を僧侶に押しつけて、その場を離れましたが、これまで自分がやっていた行いに迷いが生じてしまいました。そうして一遍上人が心に迷いを持ちながら本宮大社を参拝したとき、「信不信選ばず、浄不浄を嫌わず、一心にその札を配るべし」という熊野権現の言葉が聞こえました。それ以来、一遍上人は迷うことなく、すべての人々を救う活動を展開していきます。

「信不信を選ばず」というのは、その人が信じているかいないかに関わらず救われるということです。「浄不浄を嫌わず」という言葉の不浄とは何でしょうか。それはハンセン病患者のことだと言われています。当時、ハンセン病は不治の病として恐れられていました。「浄不浄を嫌わず」とは、当時の人々が最も嫌っていたハンセン病の患者も、他の人と同じように救いなさいということです。一遍上人の活動は、「一遍上人絵伝」に残されていますが、絵巻の中に、ハンセン病の患者と思われる人々が描かれています。

(4) 吉野山の千本桜

吉野山は桜の名所として有名です。下の千本、中の千本、上の千本と全山が桜で覆われ、昔より



熊野詣のルートイラストマップ



高野山金剛峯寺

ひとめ
「一目千本」と呼ばれる桜の名所です。しかしこの数千本の桜は自生したものではありません。奈良時代に修験道を開いた役行者が、蔵王権現ぞうごんげんの出現を願ったところ、桜の樹より姿をお示しになったことから、修験道の信者達が、桜の樹木を献木するようになっていったのが始まりです。吉野山の桜は自然遺産であるとともに、人々の信仰と結びついた文化遺産でもあるということが出来ます。



全山桜の吉野山

3. 考えてみよう

日本人の自然観

奈良県十津川村にある玉置神社は、大峯奥駈道沿いにある古代の山岳信仰に起源する神社です。大峯奥駈道には、全部で75の「なびき靡」と呼ばれるはいじよ拝所・ぎょうば行場がありますが、玉置山は熊野本宮大社の本宮証誠殿からはじめて、10番目の靡です。

玉置神社に行くとすぐ目につくのが、杉の巨樹群です。樹齡3,000年といわれる神代杉じんたいすぎ、高さ50mにも及ぶ大杉など、そのいづれにも注連縄しめなわがめぐらされているのはなぜでしょう？ また、玉置神社の基となったといわれる玉石社のご神体は、地表に少し顔を出している玉石です。



玉置神社の杉の巨樹

◇なぜ、日本人は、大きな杉や岩石を祀っているのでしょうか？

日本人の自然に対する考え方に思いを巡らせてみてください。

ユネスコ無形文化遺産



1. ユネスコ無形文化遺産は世界と文化を守るために約束するもの

ユネスコで登録されている世界遺産は地球の生成と人類の歴史によって過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない人類共通の不動産です。世界遺産は建築物、景観、自然などの有形の文化財ですが、伝統芸能、口承伝統などを無形文化財といいます。では、無形文化遺産は世界遺産とどう違うのでしょうか。

20世紀の後半以降、グローバル化の進展に伴い文化の画一化・均一化が進むようになりました。その結果、それぞれの国に伝わる固有の伝統音楽や祭礼・芸術、暮らしの知恵や生活上の技能といった無形の文化財に注目が集まるようになり、それが失われることに対する危機感が国際社会に広がるようになりました。伝統的な生活文化・習俗にはその地域の生態系や環境と共存し、それを守る働きを持っていたからです。伝統的な暮らしが失われることで、生態系を持続する力が弱くなり、地球環境全体にも大きな影響を与えていることに人々が気付いたのです。

2003年のユネスコ総会において、無形文化遺産を国際的に保護することを目的として、「無形文化遺産の保護に関する条約(無形文化遺産保護条約)」が採択されました。この条約はそれぞれの国が登録した形の無い文化が失われないように、次世代へ引き継ぎ、守り続けることを国際社会と約束するものです。

能や歌舞伎といった芸能、様々な地域の祭礼、和食や建築の技能など、日本もたくさんの無形文化遺産をユネスコに登録しています。これは国際社会に対して、日本の固有文化を日本全体で守っていくという約束を結んでいるということなのです。2008年の能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎をはじめ、様々な芸能、地域の祭礼、和食などが登録され、2020年に伝統建築工匠の技が登録されるまで、21の無形文化財が登録されています。奈良に縁が深い無形文化財として、能楽、雅楽、題目立、和食などが挙げられるでしょう。

2. ユネスコ無形文化遺産「和食」

ここでは奈良に関係が深い無形文化遺産のなかで「和食」を取り上げたいと思います。

日本では無形文化財を守る仕事は文化庁が担当しています。文化庁では祇園祭といった地域の祭礼や能や歌舞伎といった伝統芸能だけでなく、陶芸や織物など工芸品の技術も重要無形文化財(人間国宝)としてユネスコに登録する前から守ってきました。ところが「食文化」は文化財のなかには含まれていませんでした。フランス政府によって「フランスの美食術」が提案され、同じ年にスペイン・イタリア・ギリシャ・モロッコが「地中海料理」を共同提案して、それぞれ登録されました。そこで日本も2012年に、日本の伝統食「和食」をユネスコに提案しました。

日本では「自然を尊ぶ」という習わしを毎日の食生活の中で引き継いでおり、「和食：日本人の伝統的な食文化」ではユネスコに次の四つを特徴として提案しています。

- ・ 地域に根差した多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重
- ・ 一汁三菜を基本として栄養バランスがとれた健康的な食生活
- ・ 食卓でも自然の美しさや季節の移ろいを器や盛付などで表現する
- ・ 正月など年中行事の食を家族や地域の人々が共有することで絆を深める

農業が中心だったころの奈良盆地の一日の食事の様子はこのような内容でした。

朝：茶がゆ、こうこ(つけもの)、朝けんずい(間食)、しょうゆ餅、かきもち

昼：ごはん、魚の煮つけ、青菜、味噌汁、ほうせき(おやつ)、さつまいもやかぼちゃ

夜：いもご飯、煮物、こうこ

海がない奈良では毎日のおかずは畑でとれるものが中心で、魚や鶏肉などは年中行事など特別な日のごちそうでした。年中行事では神さま仏さまをお迎えして、米・酒・海山里の食物をお供えして感謝の祈りを捧げます。その後、供えものを下げていただく「神人共食」の宴会(直会)が開かれます。神仏と同じものを食べて一体となり、ご加護をうけられると信じていたからでした。

奈良盆地の平たんなどころでは燃料にする薪がとれないので、農産物ではないもみ殻や麦わらも燃料として大切にしました。季節の収穫物で彩られた生活は、それをもたらしてくれる神仏への信仰とともにありました。このように地域の伝統文化は信仰に深く根差しており、自然環境を神仏と同じく大切に守り続けるところを育み守る役割を担っていました。



3. 考えてみよう

地球上の生物多様性に取り組むことは人類にとって大切なことです。それと同様に文化の多様性も極めて大切なことなのです。日本固有の文化は私たち日本人しか守ることが出来ません。それを次世代に繋いでいくことは、世界の文化の多様性を守るということでもあります。世界遺産を守るためにも無形文化遺産が大切であり、次の世代へバトンタッチしていく必要があるのです。

◇あなたの一日の食事は昔の奈良盆地の一日の食事とどこが違いますか？

◇伝統食である和食を守っていくことはどういう意味があると思いますか？



奈良から帰ってきたら考えよう!

©奈良市観光協会

奈良で学んだことや感じたことをもとに、どうすればSDGsを達成できるか考えましょう。

- 奈良で印象に残ったことは何ですか?
また、それはSDGsの何と関連がありますか?

学んだこと

関連するSDGs

(番号を記入)複数可

--	--

--

--	--

--

--	--

--

- それらとよく似たことが、あなたの地域にありますか?
その事実や要因、背景などについて、くわしく調べてみましょう。

--





- 持続可能な社会のために、あなたの学校や地域での課題は何でしょう？
また、地域のよさをこれからも維持、発展させるための課題は何でしょう？
それらの解決方法についてもみんなで考えましょう。

- SDGsは、2030年までに達成を目指す世界共通の目標です。そして、「誰一人置き去りにしない」ことを掲げています。あなたの学校や地域の課題、また、その解決方法も明らかになったところで、あなた自身はこれから毎日どのように生活していくことを目指しますか？



あなたがそれをがんばることで、SDGsの何を達成することにつながりますか？
SDGsの番号を記入して下さい。

奈良 SDGs 学び旅
ガイドブック

企画・発行

奈良新しい学び旅推進協議会

奈良商工会議所

奈良教育大学

奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

(一財)奈良県ビジターズビューロー/(公社)奈良市観光協会/

(公社)ソーシャル・サイエンス・ラボ

奈良県/奈良市

観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業

編集・印刷/地域情報ネットワーク株式会社

2021年3月 初版発行